

利府町学校施設等長寿命化計画

令和2年3月

利府町教育委員会

目 次

第1章	学校施設の長寿命化計画の背景・目的	1
1.	計画の背景	1
2.	計画の目的	1
3.	計画の位置づけ	2
4.	計画期間	2
5.	対象施設	3
第2章	上位・関連計画の整理	6
1.	利府町総合計画＜中間見直し（後期）版＞	6
2.	利府町公共施設等総合管理計画（第1期計画）	7
3.	教育等の振興に関する施策の大綱	9
4.	利府町教育振興基本計画	10
第3章	学校施設の目指すべき姿	11
第4章	学校施設の実態把握	12
1.	学校施設の運営状況及び活用状況等の実態	12
(1)	利府町の状況	12
(2)	児童・生徒数及び学級数の推移	16
(3)	学校施設の配置状況	18
(4)	教育関連経費の推移	21
(5)	建設年度別保有量	22
(6)	今後の維持・更新コスト（従来型）	23
2.	学校施設の老朽化状況の実態	24
(1)	構造躯体以外の劣化状況の評価基準	24
(2)	健全度の算定方法	25
(3)	構造躯体以外の劣化状況評価結果	26
(4)	今後の維持・更新コスト（長寿命化型）	27
第5章	学校施設整備の基本的な方針等	28
1.	学校施設の規模・配置計画等の方針	28
(1)	学校施設の長寿命化計画の基本方針	28
(2)	学校施設の規模・配置計画等の方針	30
2.	改修等の基本的な方針	31
(1)	長寿命化の方針	31
(2)	目標使用年数・改修周期の設定	33
第6章	基本的な方針等を踏まえた施設整備の水準等	34
1.	改修等の整備水準	34
(1)	学校施設の状況を踏まえた安全性の確保	34
(2)	教育に必要な教育環境の変化に対応した機能性の確保	35
2.	維持管理の項目、手法等	36
第7章	長寿命化の実施計画	37
1.	長寿命化のコストの見通し、長寿命化の効果	37

(1) 維持・更新コストの算出パターン	37
(2) 維持・更新コストの試算における条件設定	38
(3) 優先順位の設定	38
(4) パターン別維持・更新コスト	39
(5) 長寿命化の効果	42
2. 実施計画	43
(1) 第1期（今後10年間）における実施計画	43
(2) 中長期（今後40年間）における実施計画	44
第8章 長寿命化計画の継続的運用方針	45
1. 情報基盤の整備と活用	45
2. 推進体制等の整備	45
3. フォローアップ	45

第 1 章

学校施設の長寿命化計画の背景・目的

1. 計画の背景

社会的に我が国全体が本格的な人口減少社会を迎えており、緩やかな人口増加にある本町においても、将来的には人口減少や少子高齢化に伴い、税収等の大幅な増加が見込まれず、施設更新費用の確保が困難になると想定している。特に学校施設は、公共施設の延床面積の中でも高い割合を占めることから、学校施設の長寿命化及び適正配置・維持管理を行うことが課題となっている。

本町においても、学校施設として小学校 6 校・中学校 3 校・給食センター 2 箇所が立地しており、これらの延床面積は、本町が所有する公共施設全体の約 6 割と最も多く占めている。

2018（平成 30）年 12 月には、1966（昭和 41）年度に建設した利府小学校の建替えを実施し、新校舎が完成した。一方で、1981（昭和 56）年以前に建設した旧耐震基準の利府第二小学校を中心に老朽化・機能低下が進んでいる。築 30 年未満の延床面積の割合は学校施設全体の約 7 割であるものの、今後 10 年でそのほとんどが大規模改修が必要な時期を迎え、老朽化した施設の修繕や改築（建替え）に多額の費用がかかることを想定し、適正な維持管理が必要となる。

学校施設は子どもたちが学び、生活する場であるとともに、地域住民にとっても生涯学習や地域コミュニティを支える場であり、災害時には避難所として防災機能を果たす重要な施設である。そのため、限られた財政の下、学校施設の安全性を確保し機能を向上させるため、施設の使用年数を延長する長寿命化を図り、施設整備に必要なコストを総合的に縮減していく必要がある。

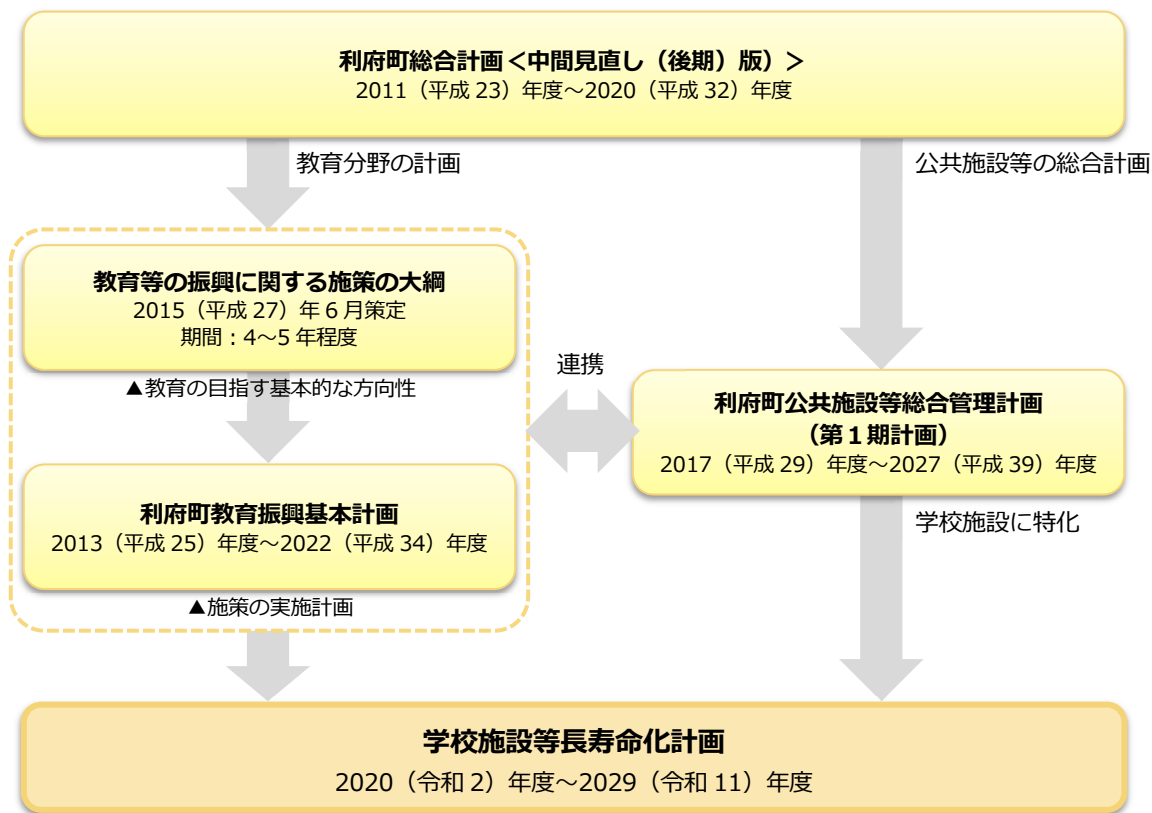
これらを踏まえ、学校施設の効率的な維持保全の実現に向けて、本町の上位・関連計画と整合を図りながら、利府町学校施設等長寿命化計画（以下「本計画」という。）を策定する。

2. 計画の目的

本計画は、本町に立地する学校施設について、中長期的な維持管理に係るトータルコストの縮減及び予算の平準化を実現しつつ、本町の学校施設に必要な機能を確保するため、老朽化などの状況を把握し、その役割などを考慮した上で、中長期的な施設整備の具体的方針・計画を策定することを目的とする。

3. 計画の位置づけ

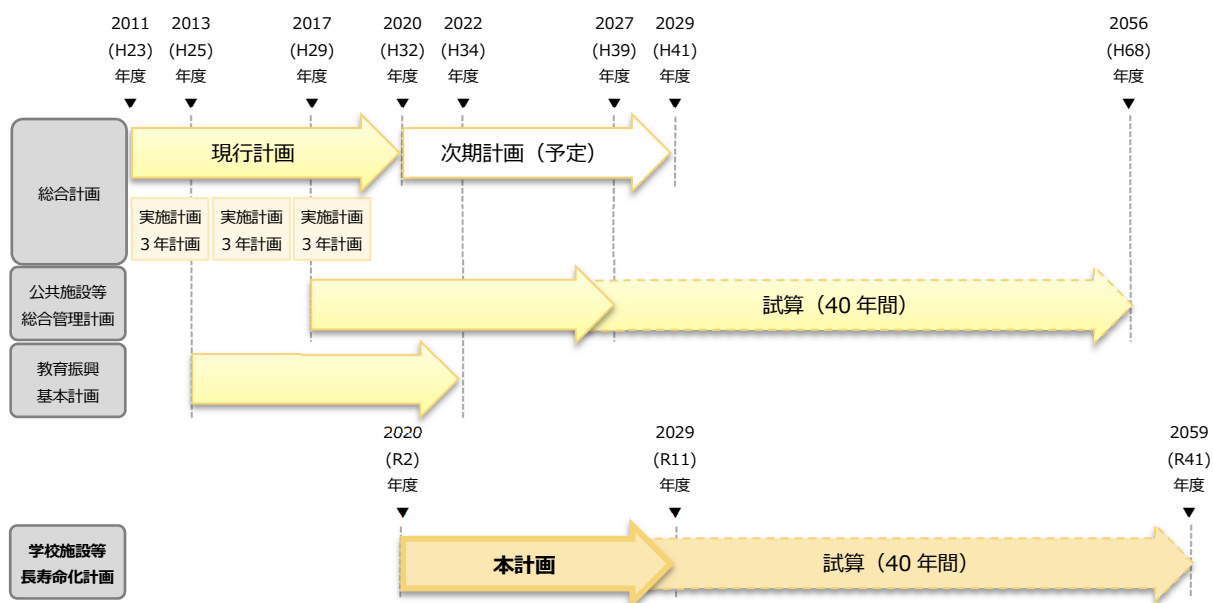
本計画は、次の上位・関連計画に基づいた学校施設に関する個別施設計画として位置づける。



4. 計画期間

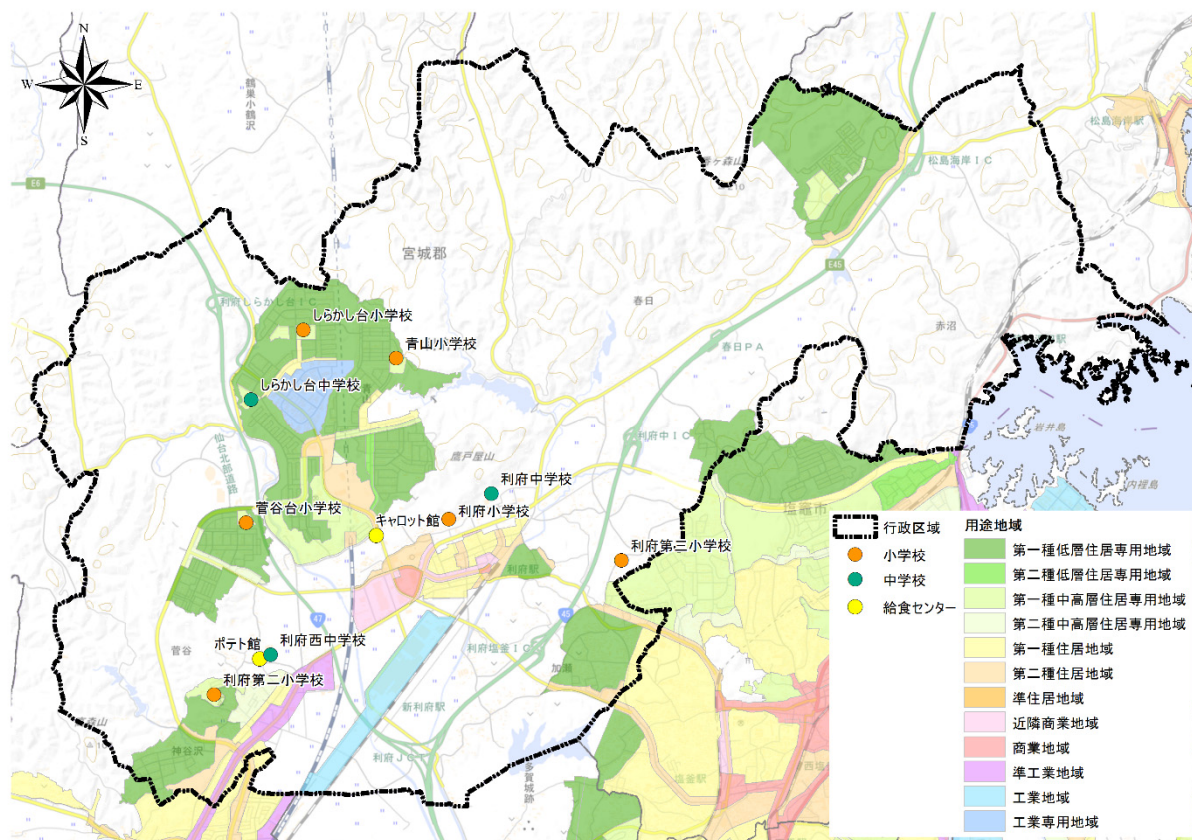
本計画の計画期間は、「利府町公共施設等総合管理計画」等の上位・関連計画と整合を踏まえ、2020（令和2）年度～2029（令和11）年度までの10年間とする。

なお、児童・生徒数の変化や社会経済情勢、国の補助制度の動向等を踏まえ、必要に応じて適宜見直すものとする。



5. 対象施設

本計画は、本町に立地する小学校6校・中学校3校・給食センター2箇所の各施設を対象とする。



出典：国土数値情報「学校」（平成 25 年）、「用途地域」（平成 23 年）

図. 対象施設分布図

表 対象施設一覧①

学校 種別	学校 調査 番号	施設名	通し 番号	棟番号	建物名	建物 用途	構 造	階 数	延床 面積 (㎡)	建築年度		築 年 数
										西暦	和暦	
小学校	0282	利府小学校	1	021	校舎	校舎	RC	3	4,956	2018	H30	1
			2	011	特別教室棟	校舎	RC	2	766	1992	H4	27
			3	018	管理教室棟 1	校舎	S	2	492	2011	H23	8
			4	019	管理教室棟 2	校舎	S	2	492	2014	H26	5
			5	014	屋内運動場	体育館	S	1	1,276	1996	H8	23
			6	015	学校連携施設	その他	S	1	270	1996	H8	23
			7	013	プール専用付属室	その他	RC	1	168	1997	H9	22
			8	012	油庫	その他	S	1	6	1992	H4	27
			9	016	倉庫	その他	S	1	12	1996	H8	23
	0572	利府第二小学校	10	001	管理教室棟	校舎	RC	3	1,847	1977	S52	42
			11	002	屋内運動場	体育館	RC	2	1,113	1978	S53	41
			12	003	プール専用付属室	その他	RC	2	43	1979	S54	40
			13	004	特別教室棟	校舎	RC	4	1,335	1980	S55	39
			14	005	倉庫	その他	W	1	37	1983	S58	36
	0601	利府第三小学校	15	001-1	普通教室棟	校舎	RC	3	1,512	1981	S56	38
			16	001-2	特別教室棟	校舎	RC	3	1,674	1982	S57	37
			17	002	屋内運動場	体育館	RC	2	1,166	1982	S57	37
			18	003	プール専用付属室 1	その他	RC	1	74	1982	S57	37
			19	004	プール専用付属室 2	その他	RC	1	24	1982	S57	37
			20	005	昇降口	その他	W	1	24	1994	H6	25
	0634	しらかし台小学校	21	001	校舎棟	校舎	RC	3	5,519	1990	H2	29
			22	002	体育館棟	体育館	S	2	1,056	1990	H2	29
			23	003	ミーティングルーム	その他	S	2	336	1990	H2	29
			24	004	プール専用付属室	その他	RC	1	96	1990	H2	29
			25	006	油庫	その他	S	1	6	1992	H4	27
			26	007	倉庫	その他	S	1	11	1992	H4	27
	0641	青山小学校	27	001	校舎(南棟)	校舎	RC	3	3,032	1994	H6	25
			28	002	校舎(北棟)	校舎	RC	3	2,935	1994	H6	25
			29	003-1, 003-2	体育館	体育館	S	2	1,114	1994	H6	25
			30	004	ミーティング室	その他	S	2	324	1994	H6	25
			31	005	倉庫	その他	RC	1	25	1994	H6	25
			32	006	プール専用付属室	その他	RC	1	115	1995	H7	24
	0646	菅谷台小学校	33	001-1	校舎 1	校舎	RC	3	3,622	1996	H8	23
			34	001-2	校舎 2	校舎	RC	3	361	1998	H10	21
			35	002	屋内運動場	体育館	S	1	1,251	1998	H10	21
			36	003	ミーティングルーム	その他	S	1	260	1998	H10	21
			37	004	プール専用付属室	その他	RC	1	136	1998	H10	21
小学校 計 6 校												

表 対象施設一覧②

学校 種別	学校 調査 番号	施設名	通し 番号	棟番号	建物名	建物 用途	構 造	階 数	延床 面積 (㎡)	建築年度		築年 数
										西暦	和暦	
中学校	3635	利府中学校	38	013	校舎 1	校舎	RC	4	4,610	1985	S60	34
			39	014	校舎 2	校舎	S	2	359	1985	S60	34
			40	015	屋内運動場	体育館	S	2	1,443	1988	S63	31
			41	016	クラブハウス	その他	RC	1	151	1988	S63	31
			42	018	校舎 3	校舎	RC	2	610	1992	H4	27
			43	019	プール専用付属室	その他	RC	1	112	1997	H9	22
			44	020	弓道場	その他	W	1	23	1997	H9	22
	3804	しらかし台中学校	45	001-1	校舎棟 1	校舎	RC	3	3,832	1991	H3	28
			46	001-2	校舎棟 2	校舎	RC	3	510	1994	H6	25
			47	002	体育館	体育館	S	2	1,281	1991	H3	28
			48	003	地域・学校連携施設	その他	S	1	214	1991	H3	28
			49	004	プール専用付属室	その他	RC	1	83	1991	H3	28
			50	005	校舎棟 3	校舎	RC	3	689	1994	H6	25
			51	006-1	校舎棟 4	校舎	RC	3	570	1996	H8	23
			52	006-2	校舎棟 5	校舎	RC	3	429	1996	H8	23
			53	006-3	渡り廊下	体育館	RC	2	29	1996	H8	23
			54	007	弓道場	その他	W	1	23	1996	H8	23
	3816	利府西中学校	55	001	校舎	校舎	RC	3	5,677	2000	H12	19
			56	002	体育館	体育館	RC	1	1,242	2000	H12	19
			57	003	地域・学校連携施設	その他	RC	2	241	2000	H12	19
			58	004	プール専用付属室	その他	RC	1	118	2000	H12	19
			59	005	倉庫	その他	S	1	6	2000	H12	19
中学校 計3校												
給食 センター	K085	キャロット館	60	001-1	共同利用施設	給食 センター	S	2	729	1990	H2	29
			61	001-2	共同利用施設	給食 センター	S	1	46	1998	H10	21
			62	001-3	共同利用施設	給食 センター	S	1	15	1998	H10	21
	K086	ポテト館	63	001	共同利用施設	給食 センター	S	2	564	1999	H11	20
給食センター 計2施設												

第2章

上位・関連計画の整理

1. 利府町総合計画＜中間見直し（後期）版＞

計画期間	基本構想：10年間…2011（平成23）年度～2020（平成32）年度 基本計画：2011（平成23）年度～2020（平成32）年度 実施計画：3年（毎年ローリング方式）
まちづくりの基本理念	私たち一人ひとりが主役となって自然・文化・産業が調和し 生きがいと喜び、心の豊かさと幸せを実感できるまちづくり
まちづくりのメインテーマ	～ひと・こころ・まち しあわせ共創のステージ～
将来像の柱	1. たがいに、パートナーシップをはぐくむまち（協働のまちづくり） 2. いきいき学び、心豊かに人をはぐくむまち（人づくり） 3. 心がかよい、健康とやさしさをはぐくむまち（健康づくり） 4. 快適で、うるおいのあるくらしをはぐくむまち（生活基盤づくり） 5. 豊かさを支え、活力をはぐくむまち（ものづくり）
基本計画（抜粋）	1. たがいにパートナーシップをはぐくむまち（協働のまちづくり） 【政策1】たがいに協働するまち （施策2）地域コミュニティ活動によるまちづくり 施策の展開： （2）交流の基盤となる施設等の整備 ② 学校施設の一般開放を推進し、コミュニティ活動の活性化を推進します。 2. いきいき学び、心豊かに人をはぐくむまち（人づくり） 【政策1】創造性豊かな子どもをはぐくむまち （施策2）健全な学校教育の推進による子どもの育成 2-2 教育施設等の整備 施策の展開： （1）教育施設等の整備・拡充 ① 教育施設等の整備・改修に際しては、太陽光発電などの自然エネルギーの利用をはじめとしたエコ改修に努め、環境教育の推進を図ります。 ② 「21世紀の学校」にふさわしいICT機器の整備に努め、子どもの学力やICT活用能力の向上を図ります。 ③ 授業科目に対応するため、施設の整備について検討します。 ④ 教育施設の機能維持・向上と大規模災害時の避難・収容場所としての機能を確保するため、計画的な施設の改修に努めます。 （2）児童・生徒の安全確保 ② 小・中学校においては、安全点検や防犯訓練の充実などにより、危機管理体制の確立に努めます。 ③ 児童・生徒及び施設利用者の安全を確保するため、防犯及び防災対策の充実に努めます。 【政策2】いきいき学び活動できるまち （施策1）多様な交流活動による生涯学習の推進 施策の展開： （2）生涯学習環境の整備 ① 生涯学習活動の場となる社会教育施設、学校施設及び文化施設などの充実を図ります。

2. 利府町公共施設等総合管理計画（第1期計画）

策定年月	2017（平成29）年3月
計画期間	2017（平成29）年度～2027（平成39）年度
公共施設等の 現状 (抜粋)	※ 利府小建替前データ 【大分類別保有総量】 4. 学校教育系施設／全体 施設数：11棟／92棟…全体の12.0% 床面積：57,713.3㎡／98,351.2㎡…全体の58.7% 大分類別割合最多 【中分類別保有量】 4. 学校教育系施設（各項目）／全体 ・小学校（利府、第二、第三、しらかし台、青山、菅谷台）／全体 施設数：6棟／92棟…全体の6.5% 床面積：34,107.0㎡／98,351.2㎡…全体の34.7% 中分類別割合最多 ・中学校（利府、しらかし台、利府西） 施設数：3棟／92棟…全体の3.3% 床面積：22,252.0㎡／98,351.2㎡…全体の22.6% ・その他教育施設（みんなのお昼キャロット、ポテト館） 施設数：2棟／92棟…全体の2.2% 床面積：1,354.3㎡／98,351.2㎡…全体の1.4% 【建物（ハコモノ）の整備状況】 ・昭和57年～平成14年の建物で最も多いのは「学校教育系施設」で、全体の63.3% ・築30年以上の建物で最も多いのは「学校教育系施設」の16,355.0㎡で、全体の16.7% ・学校教育系施設の28.3%が築30年以上 【大分類ごとの整備状況】 ・学校教育系施設の割合は公共施設延床面積全体の58.7% ・築50年以上を経過する施設は、昭和41年建築の利府小学校校舎のみ（現在は建替え事業を実施中） ・築30年以上の延床面積の割合は学校教育系施設全体の28.3% ・築30年未満の施設でも今後10年でそのほとんどが大規模改修が必要な時期を迎える
基本方針	『公共施設（建物）』は、質・コスト・量の最適化を目指します。 【原則1】予防保全による長寿命化 ～質の改善～ 老朽化の状況、利用実態及び需要の見通しを踏まえ、今後も継続していく必要がある施設については計画的な予防保全による長寿命化を図り、施設の「品質の保持や機能の改善」に努めます。 【原則2】効率的な運営・適切なサービスの提供 ～コストの改善～ 社会情勢や地域ニーズの変化に対応しながら、PPP/PFIなど民間事業者を活用した事業手法、運営方法の改善による「施設運営コストの最適化」を推進します。 【原則3】施設供給量の抑制 ～量の改善～ 次世代に過度な負担を残さないよう施設の適切な更新を進めていくために、将来の人口動向や財政状況を踏まえ、公共施設の統合、廃止及び解体による保有量の適正化と供給量の抑制を図り、「施設保有量」の改善を推進します。

	『インフラ施設』は、重要な社会基盤として施設機能の維持・向上と、安全で安心な施設の提供を目指します。 【原則４】適切な維持管理・更新 ～インフラ施設の次世代への継承～ ◆ 資産の構造と機能の状態を的確に把握し、評価し、計画的効率的管理を実施するアセットマネジメントによる取り組みを推進します。 ◆ 損傷などが発生した後に修繕などを行う「事後保全型」から、重大な損傷や致命的な損傷になる前に計画的に保全や改築などを行う「予防保全型」へと転換し、健全な施設機能の維持と長寿命化を図りながら、ライフサイクルコストを縮減します。
施設類型別個別計画の方向性 (抜粋)	(４) 学校教育系施設 ◆ 文部科学省の「学校施設の長寿命化計画策定に係る手引き」(平成 27 年 4 月)を踏まえ、学校施設長寿命化に取り組みます。 ◆ 災害時の拠点施設としての機能確保の観点も含め、周辺環境への影響を考慮した安全確保を踏まえながら計画的な改善・更新等により、機能の維持継続を検討します。 ◆ 既に耐震化済みの施設や耐震性を保有すると判断された施設についても、機能の維持向上に留意しながら定期的な点検を実施します。 ◆ 児童・生徒数の減少に伴い生じる余裕教室については、地域住民の意見を踏まえ、広い視点での有効活用を検討します。 ◆ 学校適正配置計画に基づき、改修・建替えも含めた今後の施設のあり方を検討します。

3. 教育等の振興に関する施策の大綱

策定年月	2015（平成 27）年 6 月
計画期間	概ね 4～5 年程度
目指す姿	学校・家庭・地域社会が一体となって、生き生きと学び、心豊かで、確かな学力をもち創造性に富む子どもを育てています。 そして、町民が生きがいをもって個性と能力が発揮でき、新しい利府文化を育む地域社会が形成されています。
計画の目標	目標 1 夢や希望をもち、その実現に向けて自ら考え行動し、社会を生き抜く子どもを育む。 目標 2 次代を担う社会の一員として、地域の文化や規範を尊重し、思いやりに富んだ子どもを育む。 目標 3 学校・家庭・地域の教育力の充実と連携の強化を図り、「町はひとつの学校」の理念のもと、社会全体で子どもを守り育てる環境をつくる。 目標 4 生涯にわたり健康で充実した生活ができる地域社会をつくる。
施策の基本方向	基本方向 1 学ぶ力と自立する力の育成 基本方向 2 豊かな人間性や社会性、健やかな体の育成 基本方向 3 教育的支援を要する子どもへの支援の充実 基本方向 4 信頼され魅力ある教育環境づくり 基本方向 5 学校・家庭・地域が協働で子どもを育てる環境づくり 基本方向 6 生涯にわたる学習・文化・スポーツ活動の推進
施策内容 (抜粋)	<u>基本方向 1 学ぶ力と自立する力の育成</u> (4) 利府町を愛し、社会の変化に対応できる学習の展開 4 発達段階に応じた情報スキルと情報モラル教育の充実 <u>基本方向 2 豊かな人間性や社会性、健やかな体の育成</u> (1) 食育を通じた健康教育の充実 1 食育を通じた健康教育の充実 3 学校給食施設・設備の整備 (3) 災害に積極的に向き合う防災教育の推進 1 子どもの安全を守る環境整備と防災教育の推進 <u>基本方向 3 教育的支援を要する子どもへの支援の充実</u> (2) 特別支援教育の充実 2 教育環境の整備と相談体制の確立 <u>基本方向 4 信頼され魅力ある教育環境づくり</u> (3) ゆとりと潤いのある教育環境の整備 1 学校施設・設備の計画的な改修・改善 <u>基本方向 5 学校・家庭・地域が協働で子どもを育てる環境づくり</u> (3) 子どもたちの多様な体験活動の推進 1 親子ふれあい教室等による世代間交流事業の充実 2 各種体験教室による体験活動の充実 3 社会教育施設の利用促進と効果的活用 <u>基本方向 6 生涯にわたる学習・文化・スポーツ活動の推進</u> (3) 図書館機能の充実と読書活動の推進 1 図書館資料の充実 (4) 町民の健康、体力づくり活動の推進 5 社会体育施設及び学校教育施設の利用促進と有効活用

4. 利府町教育振興基本計画

策定年月	2013（平成 25）年 3 月
計画期間	2013（平成 25）年度～2022（平成 34）年度
目指す姿	「教育等の振興に関する施策の大綱」と同様
計画の目標	〃
施策の基本方向	〃
計画の推進に向けて	1 計画の進行管理 本計画の推進のために実施する施策については「利府町の教育」に掲げ、定期的な点検とその結果のフィードバックによる進行管理を毎年度行います。 点検については、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 27 条の規定に基づき実施する「利府町教育委員会事務事業点検・評価」を活用し、効果的な推進を図ります。 2 関係部局との連携 町民の学びにつながる取組みは、子育て、地域づくり、福祉、環境など様々な分野を所管する他の部局においても行われていることから、より効果的で厚みのある事業展開が可能となるよう、相互の連携を深め横断的な取組みの推進を図ります。 3 情報の発信と収集 目指す教育の姿を実現するためには、学校・家庭・地域の協働による効果的な教育行政の推進を図ることが重要であり、そのためには幅広い町民の理解と協力を得ることが不可欠です。 そのため、本町教育行政の目指す方向性や施策の内容、実施方法等に関して、分かりやすく丁寧な情報提供に努めながら説明責任を果たしていきます。 また、急速に変化する社会の中で、対応すべき課題も刻々と変化しており、町民の意見やニーズ、教育に関する情報等を的確に把握し、迅速な対応に努めていきます。

第3章

学校施設の目指すべき姿

安全・安心で快適な施設環境の確保

学校施設は、児童・生徒が日常の多くの時間を過ごす学習・生活の場であることから、安全・安心な教育環境の確保が必要である。

さらに、災害時には避難所などの役割を担うことから、耐震化や老朽化対策により学校施設の安全性を確保し、地域における防災力の向上として防災機能の強化を図る。

また、ユニバーサルデザインの導入やバリアフリー化に取り組み、誰もが快適に学校施設を利用できる環境づくりを行う。

多様なニーズへの対応

近年の生活様式の変化や情報化の進展と普及などに伴い、トイレの洋式化など、時代に即した多機能かつ高機能な教育環境の確保に努めるとともに、「21世紀の学校」にふさわしいICT機器の整備に努め、効果的に子どもの学力やICT活用能力の向上を図る。また、多様な教育内容・方法、児童・生徒の個々の教育ニーズに応じて、少人数学習や特別支援教育に対応できるフレキシブルな施設整備に努める。

さらに、地球温暖化問題などの人類存続にかかわる深刻な問題を踏まえ、施設の整備・改修に際しては、太陽光発電設備などの自然エネルギーの利用やLED照明の導入などによるエコ改修に努め、環境教育の推進を図る。

地域と連携した施設の活用

本町でも将来的に人口減少が見込まれるとともに、東部地区では地理的な条件などから塩竈市へ委託通学をしている状況であることから、地域の実情を踏まえた効果的な施設配置を検討する。

学校施設は、生涯学習や地域コミュニティを支える場としての機能が必要なことから、学習環境や学校生活に支障が生じないよう十分に配慮したうえで、開かれた学校の実現を目指し、将来、児童・生徒数の減少により余裕教室が生じた場合は、地域へ開放するなど、施設の有効活用を推進する。

持続可能な施設整備の実現

限られた財源の中で、持続可能な施設整備を実現するため、耐久性の高い部材の採用や工法の検討、維持管理の容易さ、環境への配慮などを考慮し、ライフサイクルコストの縮減を図る。

また、学校施設が長期的に良好な状態を維持できるように、学校施設の劣化状況を把握し、効果的かつ計画的に適切な改修・修繕・更新に取り組むことで、事後保全から予防保全を中心とした維持管理に転換し、学校施設の長寿命化を図る。

第4章

学校施設の実態把握

1. 学校施設の運営状況及び活用状況等の実態

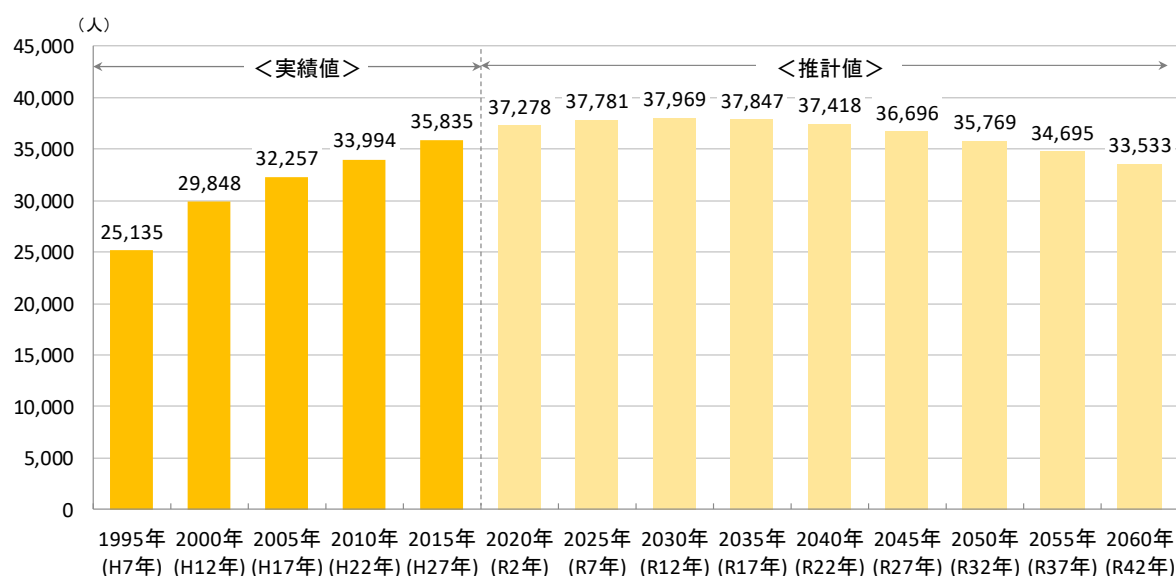
(1) 利府町の状況

①総人口

本町の総人口は、1995（平成 7）年以降増加しており、2015（平成 27）年は 35,835 人となっている。

将来の推計人口は、2030（令和 12）年の 37,969 人をピークとして減少に転じ、30 年後の 2045（令和 27）年には 36,696 人、2060（令和 42）年には現在よりも約 2,300 人少ない 33,533 人へ減少する見込みとなっている。

ただし、人口ビジョン・総合戦略においては、出生率や移動率の目標達成のための施策を実行することで人口減少を抑制し、2060 年の目標人口を 37,700 人としている。

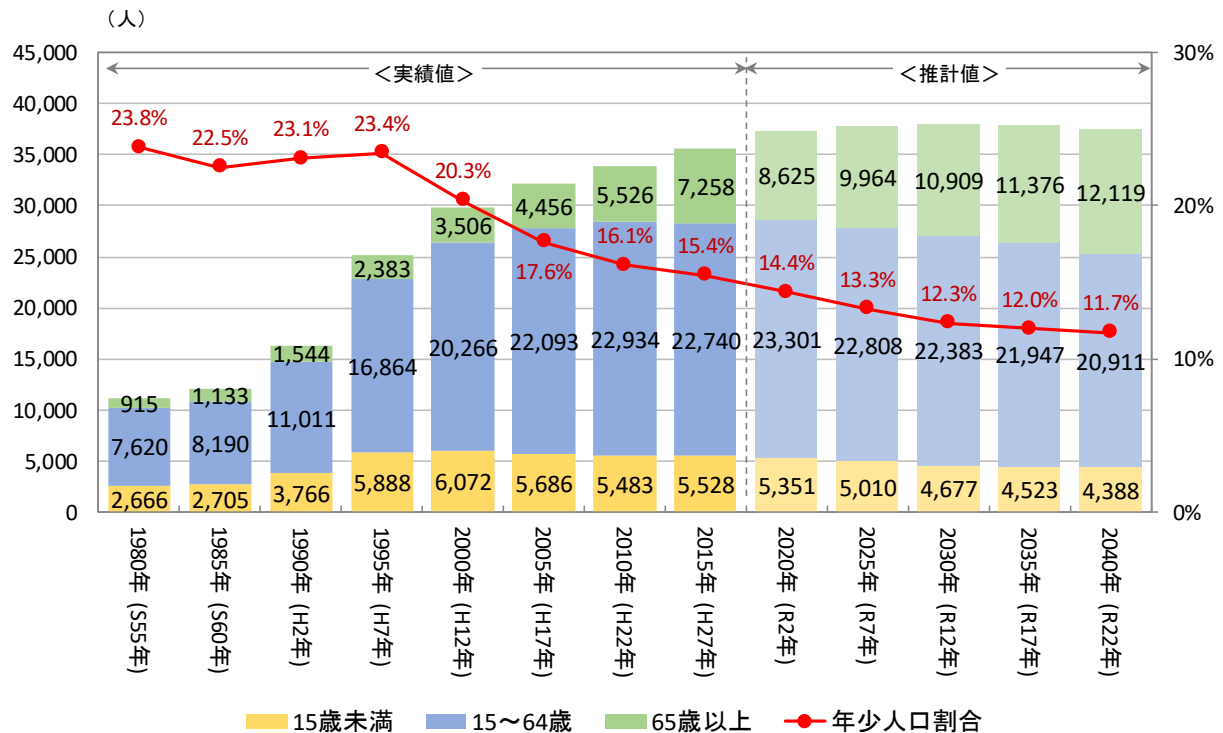


出典：国勢調査（各年）、利府町人口ビジョン（社人研準拠）
図. 総人口の推移

②年齢3区分別人口・年少人口割合の推移

2015（平成 27）年における年齢3区分別人口は、年少人口（0～14 歳）5,528 人、生産年齢人口（15～64 歳）22,740 人、老年人口（65 歳以上）7,258 人となっている。今後は、年少人口と生産年齢人口は一貫して減少、老年人口は増加傾向が続く見込みとなっている。

年少人口割合は、2000（平成 12）年以降減少しており、2015（平成 27）年には 15.4%となっている。今後も一貫して減少する見込みとなっている。

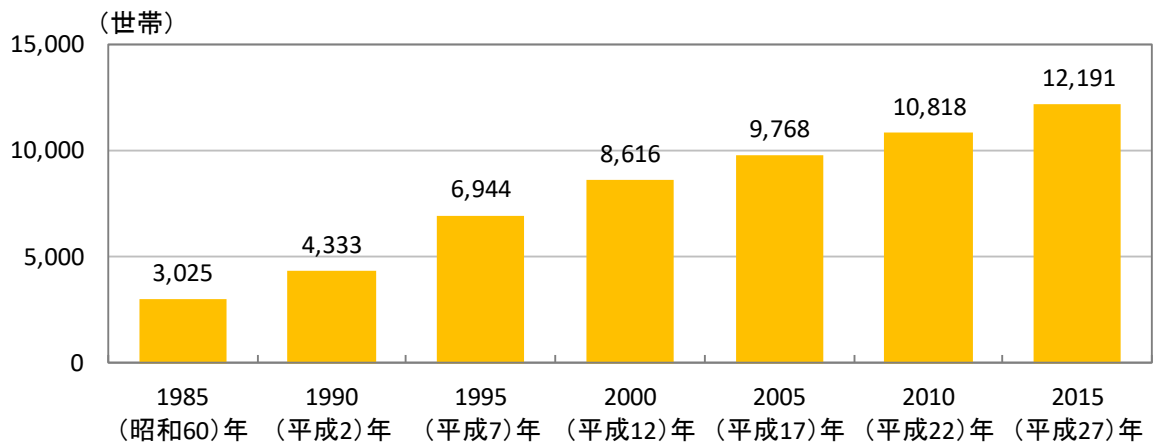


出典：国勢調査（各年）、利府町人口ビジョン（社人研準拠）

図．年齢3区分別人口・年少人口割合の推移

③世帯数の推移

本町の世帯数は、1985（昭和 60）年以降増加しており、5 年間で 1,000 世帯以上増加する傾向が続いている。2015（平成 27）年における世帯数は、12,191 世帯となっている。



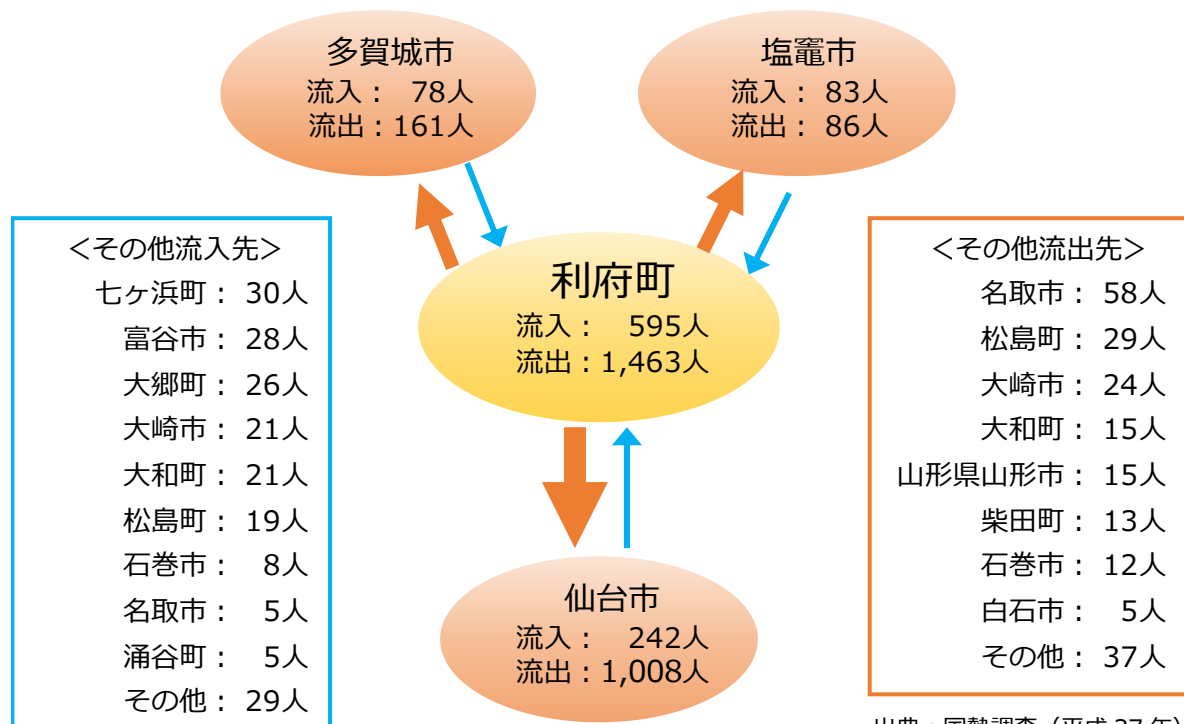
出典：国勢調査（各年）

図. 世帯数の推移

④通学における流入・流出の動向

本町の通学における流入・流出動向は、2015（平成 27）年では流出 1,463 人に対して流入 595 人と、868 人の流出超過となっている。

流出先としては、仙台市が最も多く 1,008 人、次いで多賀城市が 161 人となっている。流入先としては、仙台市が最も多く 242 人、次いで塩竈市が 83 人となっている。



出典：国勢調査（平成 27 年）

図. 通学における流入・流出状況

⑤財政の状況

2007（平成 19）年から 2017（平成 29）年まで財政の規模は大幅に増加しており、歳入では自主財源・依存財源ともに、歳出では義務的経費・投資的経費が増加している。

2016（平成 28）年度策定の公共施設等総合管理計画によると、町が所有する全ての建築物及びインフラ施設（病院事業会計、水道事業会計を含む）について、今後 40 年間に必要な更新費用の総額は 1,094.6 億円（建築物 375 億円、インフラ施設 719.6 億円）、更新費用の年平均は 27.4 億円となっている。

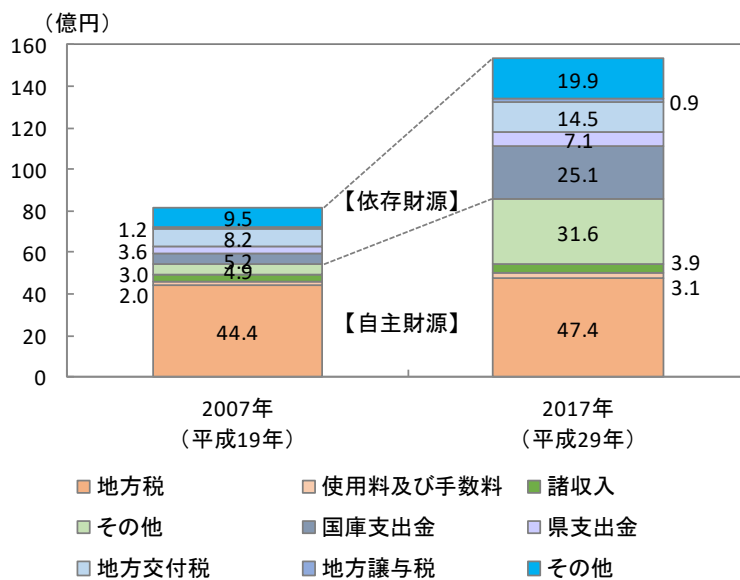


図. 財源別歳入の推移

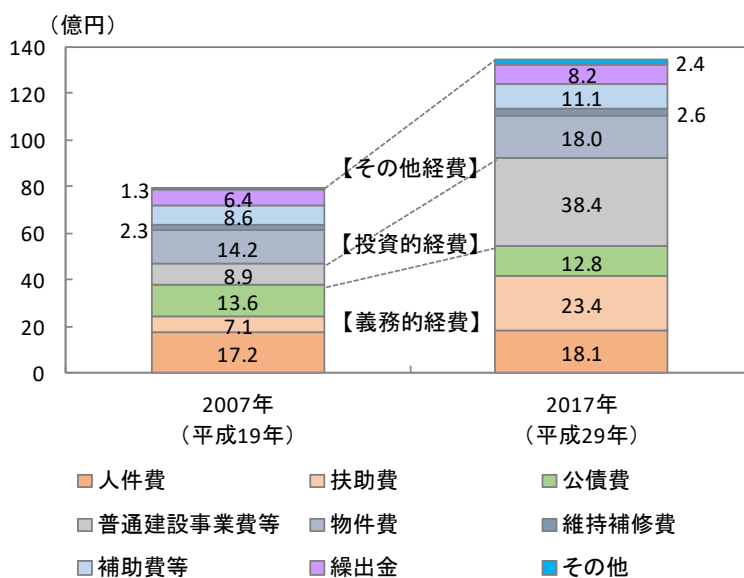


図. 財源別歳出の推移

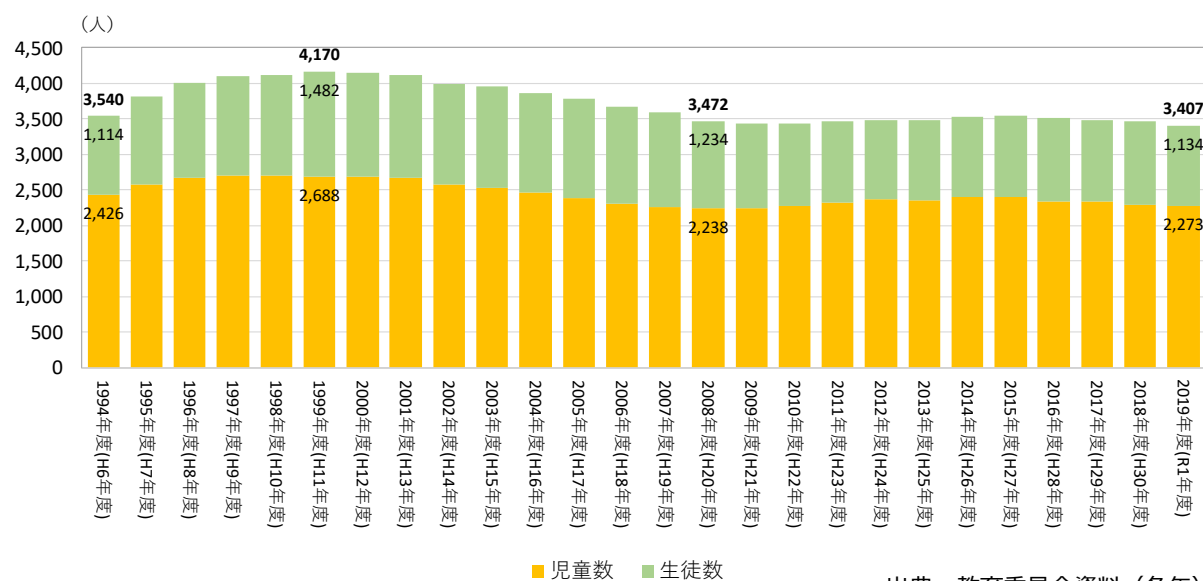
(2) 児童・生徒数及び学級数の推移

①児童・生徒数の推移

2019（令和元）年度 5月1日現在の児童・生徒数は3,407人（児童数2,273人、生徒数1,134人）となっている。

児童・生徒数1999（平成11）年度をピークに減少に転じ、2008（平成20）年度以降は横ばいで推移している。児童数、生徒数についても、ほぼ同様の傾向となっている。

最も児童・生徒数が多い1999（平成11）年度と2019（令和元）年度を比較すると、児童・生徒数は763人減（児童数は415人減、生徒数は348人減）となっている。



図表. 児童・生徒数の推移

	1994年度 (H6年度)	1995年度 (H7年度)	1996年度 (H8年度)	1997年度 (H9年度)	1998年度 (H10年度)	1999年度 (H11年度)	2000年度 (H12年度)	2001年度 (H13年度)	2002年度 (H14年度)	2003年度 (H15年度)
児童数	2,426	2,579	2,675	2,697	2,703	2,688	2,693	2,667	2,582	2,535
生徒数	1,114	1,235	1,325	1,405	1,423	1,482	1,450	1,445	1,414	1,428
合 計	3,540	3,814	4,000	4,102	4,126	4,170	4,143	4,112	3,996	3,963

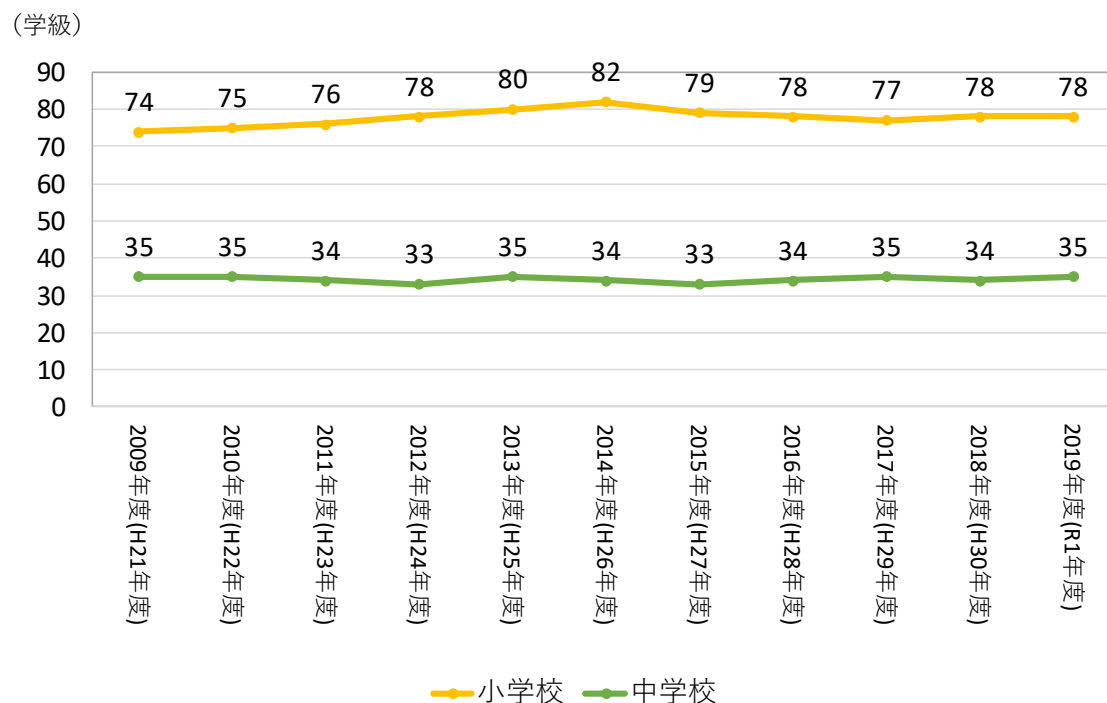
	2004年度 (H16年度)	2005年度 (H17年度)	2006年度 (H18年度)	2007年度 (H19年度)	2008年度 (H20年度)	2009年度 (H21年度)	2010年度 (H22年度)	2011年度 (H23年度)	2012年度 (H24年度)	2013年度 (H25年度)
児童数	2,469	2,391	2,306	2,255	2,238	2,241	2,277	2,319	2,363	2,359
生徒数	1,393	1,398	1,360	1,331	1,234	1,196	1,156	1,154	1,117	1,125
合 計	3,862	3,789	3,666	3,586	3,472	3,437	3,433	3,473	3,480	3,484

	2014年度 (H26年度)	2015年度 (H27年度)	2016年度 (H28年度)	2017年度 (H29年度)	2018年度 (H30年度)	2019年度 (R1年度)
児童数	2,407	2,404	2,342	2,330	2,294	2,273
生徒数	1,129	1,147	1,165	1,151	1,173	1,134
合 計	3,536	3,551	3,507	3,481	3,467	3,407

②学級数の推移

小学校学級数は、2014（平成 26）年度まで増加傾向が続いていたが、それ以降は概ね 78 クラス前後で推移している。

中学校学級数は、2009（平成 21）年度以降 34 クラス前後で推移している。



※学級数には特別支援学級を含まない

出典：教育委員会資料（各年）

図表. 学級数の推移

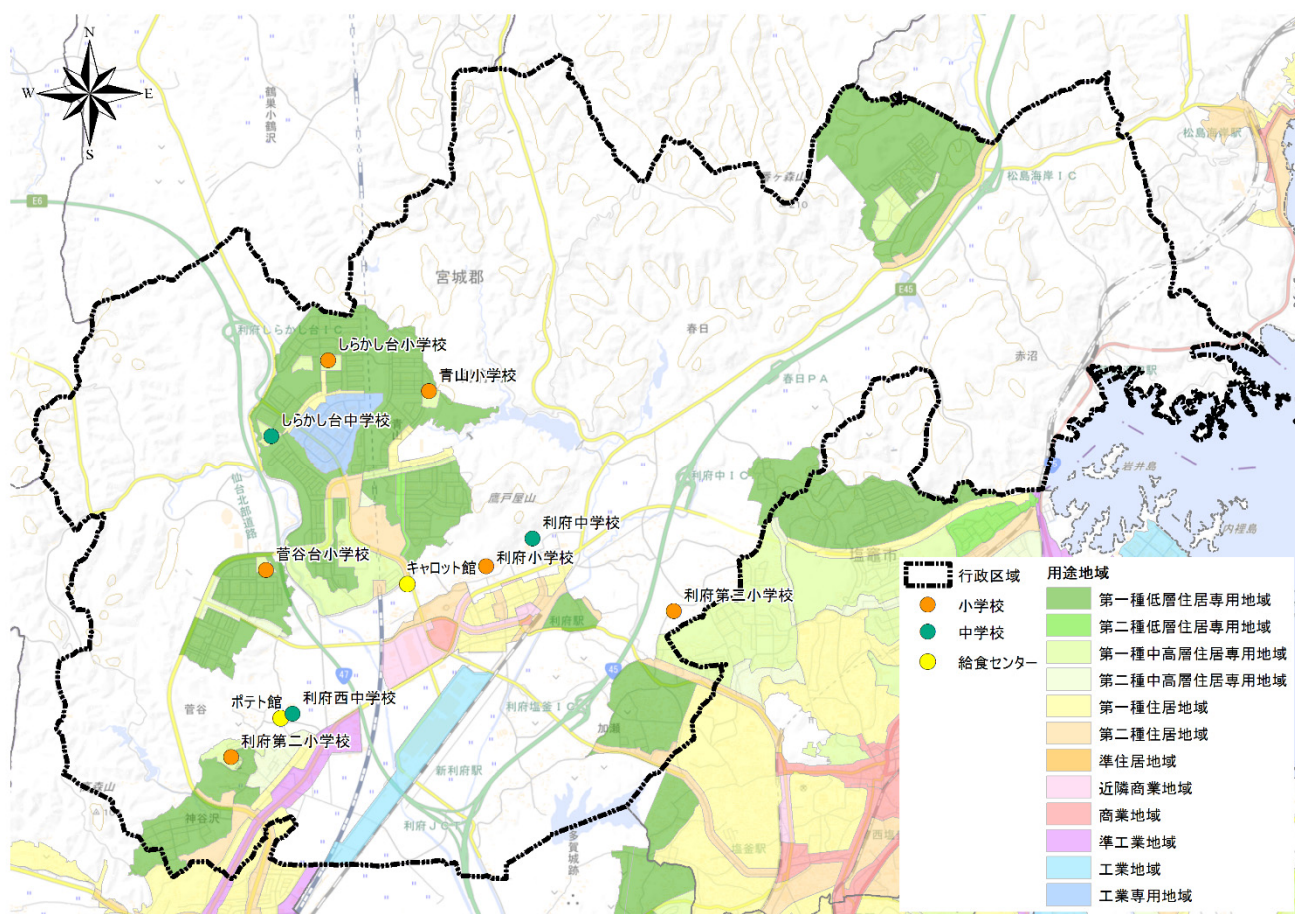
学校名	2009年度 (H21年度)	2010年度 (H22年度)	2011年度 (H23年度)	2012年度 (H24年度)	2013年度 (H25年度)	2014年度 (H26年度)	2015年度 (H27年度)	2016年度 (H28年度)	2017年度 (H29年度)	2018年度 (H30年度)	2019年度 (R1年度)
利府小学校	15	16	17	19	19	20	19	18	18	18	18
利府第二小学校	12	12	12	12	13	13	12	12	12	12	12
利府第三小学校	10	10	10	11	11	12	13	13	12	13	12
しらかし台小学校	9	10	11	12	12	12	11	11	11	11	12
青山小学校	15	14	13	12	12	12	12	12	12	12	12
菅谷台小学校	13	13	13	12	13	13	12	12	12	12	12
小学校計	74	75	76	78	80	82	79	78	77	78	78
利府中学校	9	9	9	9	11	11	12	13	13	13	14
しらかし台中学校	16	15	13	12	12	11	10	10	10	9	9
利府西中学校	10	11	12	12	12	12	11	11	12	12	12
中学校計	35	35	34	33	35	34	33	34	35	34	35

(3) 学校施設の配置状況

①学校施設の配置

本計画の対象である学校施設として、小学校 6 校、中学校 3 校、給食センター 2 箇所の分布状況を示す。学校施設は、中心市街地周辺の他、住宅団地に立地している。

N0	分類	施設名	所在地
1	小学校	利府小学校	利府町利府城内1
2		利府第二小学校	利府町神谷沢字後沢31-1
3		利府第三小学校	利府町森郷後楽東1-5
4		しらかし台小学校	利府町しらかし台1丁目9
5		青山小学校	利府町青山3丁目45-1
6		菅谷台小学校	利府町菅谷台4丁目40
7	中学校	利府中学校	利府町森郷古戸6
8		しらかし台中学校	利府町しらかし台2丁目6-6
9		利府西中学校	利府町菅谷新洞風17
10	給食センター	キャロット館	利府町沢乙北橋33-1
11		ポテト館	利府町菅谷字新馬場崎前22

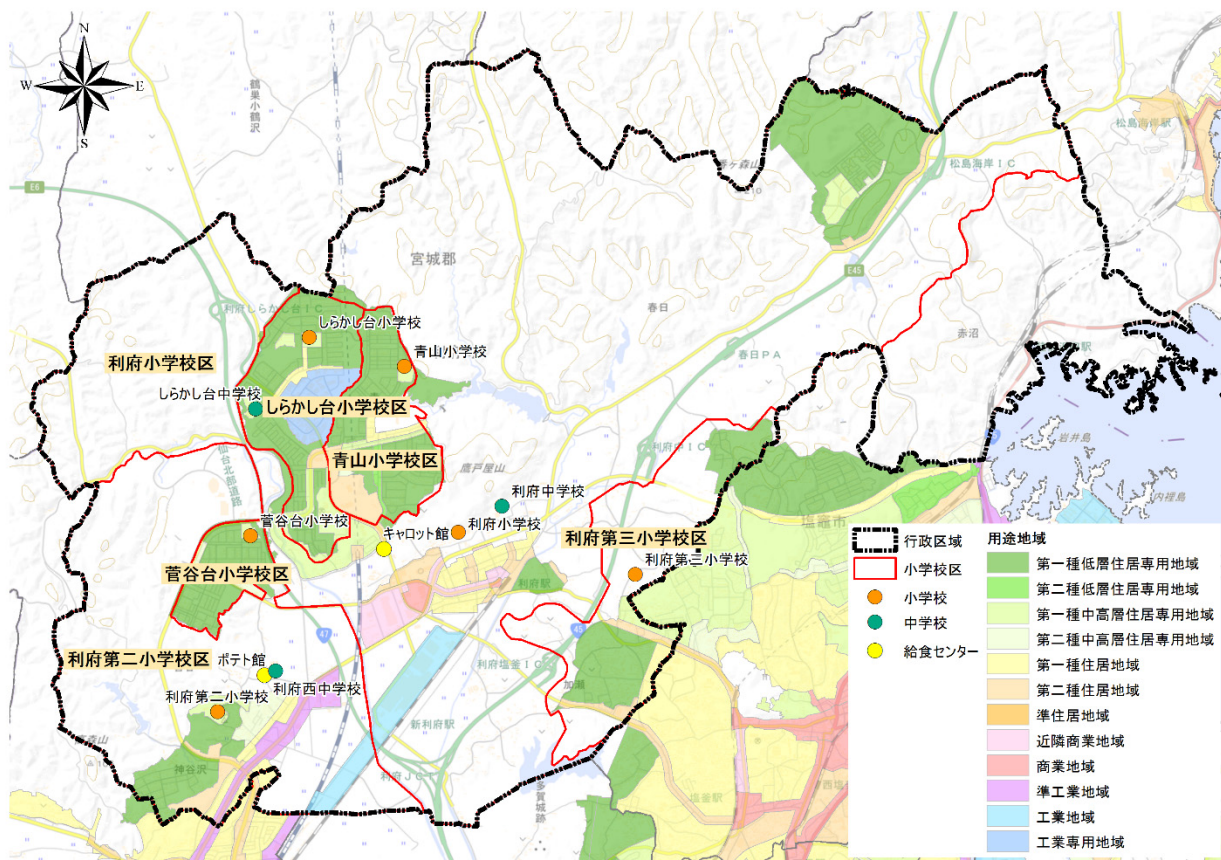


出典：国土数値情報「学校」（平成 25 年）、「用途地域」（平成 23 年）

図表．学校施設位置図

②小学校区

小学校 6 校の校区を示す。



出典：国土数値情報「小学校区」（平成 28 年）

図．小学校区

中学校 3 校の校区を示す。

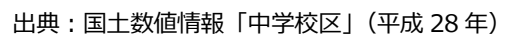
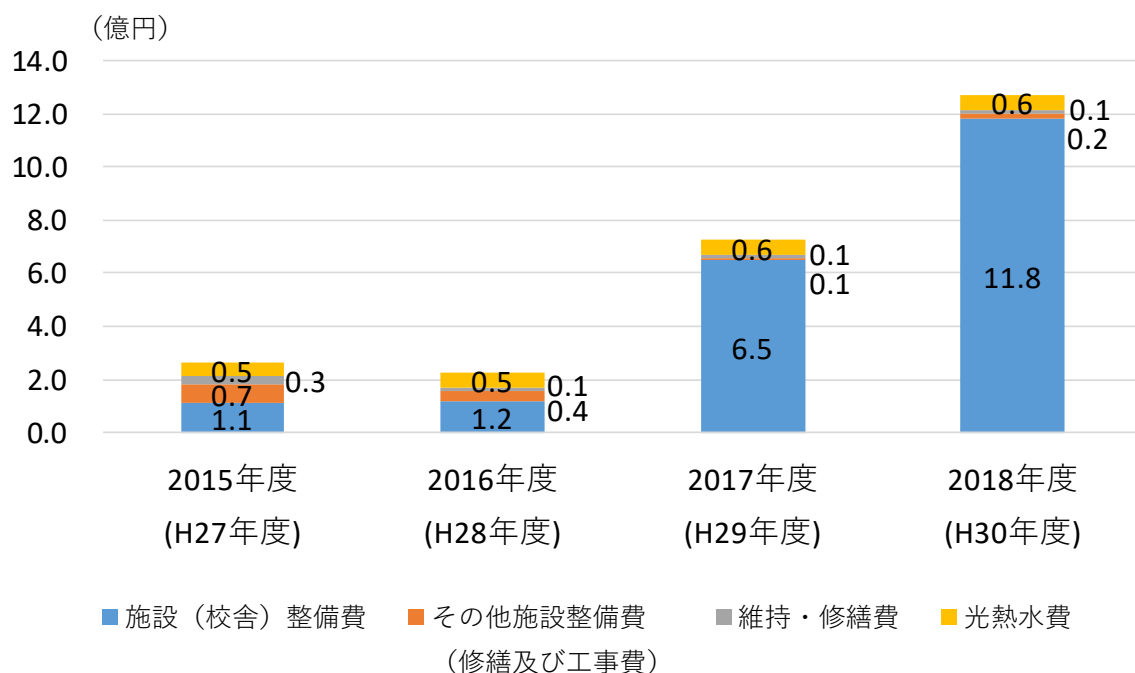


図. 中学校区

(4) 教育関連経費の推移

2015（平成 27）年度から 2018（平成 30）年度における維持管理・修繕費等に係る経費は、年間 2.3 億～12.7 億円程度で推移しており、4 年間の平均は約 6.2 億円／年となっている。

経費の内訳は、利府小学校において校舎の改築等を行っていることから施設（校舎）整備費が最も高く、4 年間の平均は約 5.1 億円／年となっている。



※建物の維持管理等に必要な経費をとりまとめたもの

出典：教育委員会資料

図表. 維持管理・修繕費等に係る経費の推移（学校施設）

維持 に管 理 る・ 経 費 等	項 目	2015年度 (H27年度)	2016年度 (H28年度)	2017年度 (H29年度)	2018年度 (H30年度)	平均
	施設(校舎)整備費	1.1億円	1.2億円	6.5億円	11.8億円	5.1億円
	その他施設整備費 (修繕及び工事費)	0.7億円	0.4億円	0.1億円	0.2億円	0.3億円
	維持・修繕費	0.3億円	0.1億円	0.1億円	0.1億円	0.2億円
	光熱水費	0.5億円	0.5億円	0.6億円	0.6億円	0.6億円
	合 計	2.6億円	2.3億円	7.2億円	12.7億円	6.2億円

(5) 建設年度別保有量

建築年度別の保有量（延床面積）について、対象建物（約 6.1 万㎡）のうち、築 30 年以上経過している建物が全体の約 25%、築 20 年以上経過している建物が全体の約 78%を占めている。旧耐震基準である建物の保有量（延床面積）は、全体の約 10%となっている。

今後、年数の経過に伴って建物の老朽化が進行することで、改修費の増加が見込まれる。

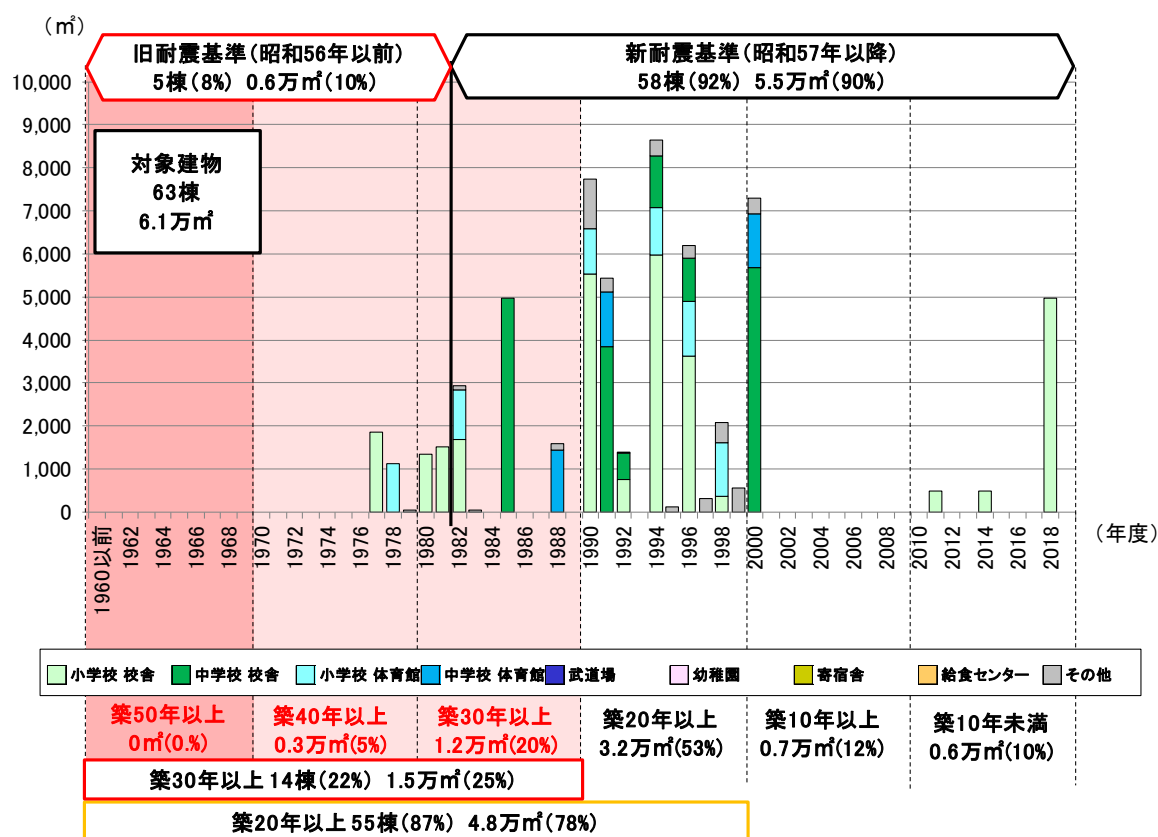


図. 築年別整備状況

（６）今後の維持・更新コスト（従来型）

従来通り、50年で改築（建替え）を行う修繕・改修方法を継続した場合、今後40年間におけるコストは総額約291億円と試算する。平均額は約7.3億円／年となっており、過去5年間における施設関連経費の平均額である約2.6億円／年の約2.8倍となっている。

このように多額の費用が見込まれることから、従来の改築中心の整備方法を継続することは困難であり、計画的な維持管理による学校施設の長寿命化に向けた検討を行い、費用の縮減や平準化を図る必要がある。

※改築単価：35万円（利府小建替えより算出）

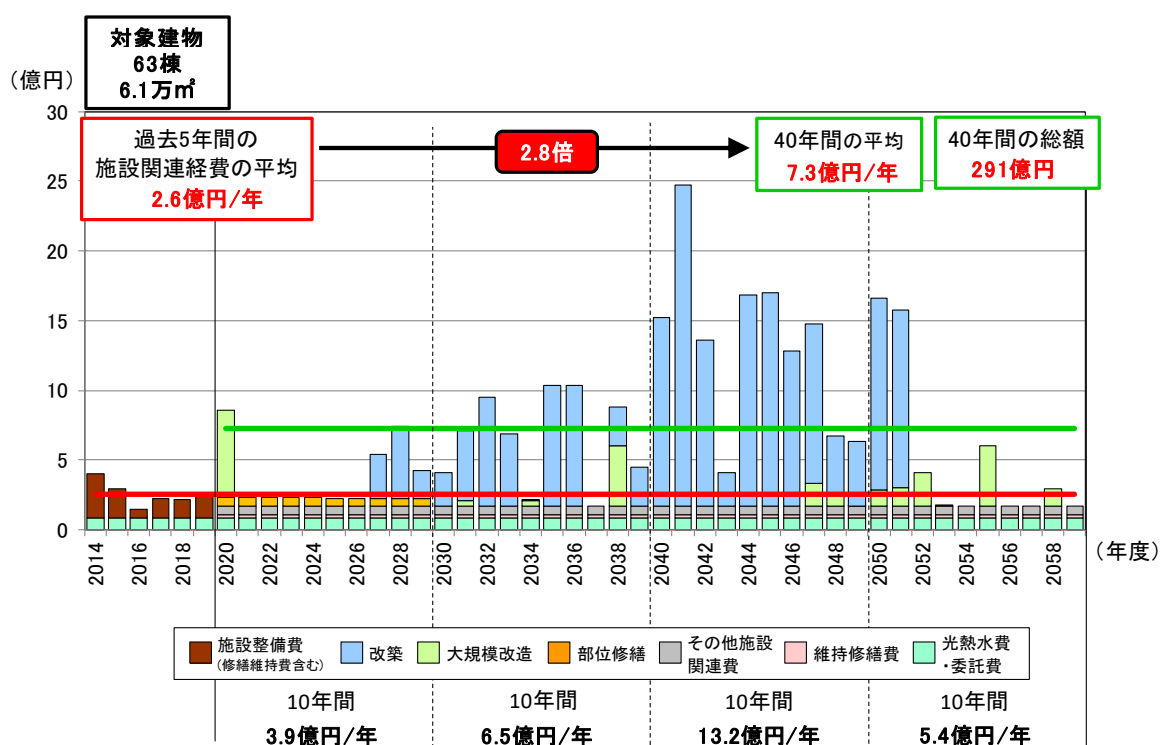


図. 今後の維持・更新コスト（従来型）

2. 学校施設の老朽化状況の実態

(1) 構造躯体以外の劣化状況の評価基準

学校施設の老朽化状況を把握する手法として、構造躯体以外の劣化状況等の評価を行った。対象として、5つの部位「屋根・屋上」、「外壁」、「内部仕上げ」、「電気設備」、「機械設備」における劣化状況の評価した。

評価とあわせて、各部位の重要度ごとに重みづけを設定して健全度の算出を行い、優先度の指標とした。これにより、構造躯体以外の劣化部位の修繕コストや改修等の優先順位づけを行い、今後の維持・更新コストに関する試算へ反映した。

5つの部位の評価について、「屋根・屋上」、「外壁」、「内部仕上げ」は目視により、「電気設備」、「機械設備」は設備の全面的な改修年からの経過年数を基本として、「学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書（平成29年 文部科学省）」に準拠した4段階（A～D）で評価を行った。

評価基準

目視による評価【屋根・屋上、外壁】

	評価	基準
良好 劣化	A	概ね良好
	B	部分的に劣化（安全上、機能上、問題なし）
	C	広範囲に劣化（安全上、機能上、不具合発生の兆し）
	D	早急に対応する必要がある （安全上、機能上、問題あり） （躯体の耐久性に影響を与えている） （設備が故障し施設運営に支障を与えている）等

経過年数による評価

【内部仕上げ、電気設備、機械設備】

	評価	基準
良好 劣化	A	20年未満
	B	20～40年
	C	40年以上
	D	経過年数に関わらず著しい劣化事象がある場合

出典：文科省学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書（H29.3）

図. 構造躯体以外の劣化状況の評価

(2) 健全度の算定方法

各建物の5つの部位「屋根・屋上」、「外壁」、「内部仕上り」、「電気設備」、「機械設備」における健全度は、A～Dの4段階で評価する劣化状況について、100点満点で数値化する。

具体的には、①部位の評価点、②部位のコスト配分を以下の表のように定め、③健全度を100点満点で算定する。

①部位の評価点

評価	評価点
A	100
B	75
C	40
D	10

②部位のコスト配分

評価	コスト配分
1 屋根・屋上	5.1
2 外壁	17.2
3 内部仕上り	22.4
4 電気設備	8.0
5 機械設備	7.3
計	60

③健全度の算定方法

$$\text{総和（部位の評価点} \times \text{部位のコスト配分）} \div 60$$

※100点満点にするためにコスト配分の合計値で割っている

※健全度は数値が小さいほど劣化が進んでいることを示している

(3) 構造躯体以外の劣化状況評価結果

劣化状況調査の結果（部位別の劣化状況評価及び健全度）を次に示す。100 点満点である健全度は、数値が小さいほど劣化が進んでいることを示している。

表. 構造躯体以外の劣化状況評価結果

建物基本情報													構造躯体の健全性					劣化状況評価						
通し 番号	学校 調査 番号	施設名	建物名	棟番号	用途区分		構造	階数	延床 面積 (㎡)	建築年度		築年 数	耐震安全性			長寿命化判定		屋根・ 屋上	外壁	内部仕 上	電気設 備	機械設 備	健全度 (100点 満点)	
					学校種別	建物用途				西暦	和暦		基準	診断	補強	調査 年度	圧縮 強度 (N/㎡)							試算上 の区分
1	0282	利府小学校	校舎	021	小学校	校舎	RC	3	4,956	2018	H30	1	新	-	-		長寿命	A	A	A	A	A	100	
2	0282	利府小学校	特別教室棟	011	小学校	校舎	RC	2	766	1992	H4	27	新	-	-		長寿命	C	B	B	B	B	72	
3	0282	利府小学校	管理教室棟1	018	小学校	校舎	S	2	492	2011	H23	8	新	-	-		長寿命	A	A	A	A	A	100	
4	0282	利府小学校	管理教室棟2	019	小学校	校舎	S	2	492	2014	H26	5	新	-	-		長寿命	A	A	A	A	A	100	
5	0282	利府小学校	屋内運動場	014	小学校	体育館	S	1	1,276	1996	H8	23	新	-	-		長寿命	C	B	B	B	B	72	
6	0282	利府小学校	学校連携施設	015	小学校	その他	S	1	270	1996	H8	23	新	-	-		長寿命	B	B	B	B	B	75	
7	0282	利府小学校	プール専用付属室	013	小学校	その他	RC	1	168	1997	H9	22	新	-	-		長寿命	B	B	B	B	B	75	
8	0282	利府小学校	油庫	012	小学校	その他	S	1	6	1992	H4	27	新	-	-		長寿命	A	A	A	A	A	100	
9	0282	利府小学校	倉庫	016	小学校	その他	S	1	12	1996	H8	23	新	-	-		長寿命	C	B	B	B	B	72	
10	0572	利府第二小学校	管理教室棟	001	小学校	校舎	RC	3	1,847	1977	S52	42	旧	済	済	H10	12.7	要調査	C	C	C	C	C	40
11	0572	利府第二小学校	屋内運動場	002	小学校	体育館	RC	2	1,113	1978	S53	41	旧	済	済	H13	23.8	長寿命	B	B	C	C	C	53
12	0572	利府第二小学校	プール専用付属室	003	小学校	その他	RC	2	43	1979	S54	40	旧	-	-		長寿命	B	C	C	C	C	43	
13	0572	利府第二小学校	特別教室棟	004	小学校	校舎	RC	4	1,335	1980	S55	39	旧	-	-		長寿命	B	C	C	B	B	52	
14	0601	利府第二小学校	倉庫	005	小学校	その他	W	1	37	1983	S58	36	新	-	-		長寿命	C	B	B	B	B	72	
15	0601	利府第三小学校	普通教室棟	001-1	小学校	校舎	RC	3	1,512	1981	S56	38	新	-	-		長寿命	B	C	B	B	B	65	
16	0601	利府第三小学校	特別教室棟	001-2	小学校	校舎	RC	3	1,674	1982	S57	37	新	-	-		長寿命	B	B	B	B	B	75	
17	0601	利府第三小学校	屋内運動場	002	小学校	体育館	RC	2	1,166	1982	S57	37	新	-	-		長寿命	B	B	B	B	B	75	
18	0601	利府第三小学校	プール専用付属室1	003	小学校	その他	RC	1	74	1982	S57	37	新	-	-		長寿命	B	B	B	B	B	75	
19	0601	利府第三小学校	プール専用付属室2	004	小学校	その他	RC	1	24	1982	S57	37	新	-	-		長寿命	B	B	B	B	B	75	
20	0634	利府第三小学校	昇降口	005	小学校	その他	W	1	24	1994	H6	25	新	-	-		長寿命	B	B	B	B	B	75	
21	0634	しらかし台小学校	校舎棟	001	小学校	校舎	RC	3	5,519	1990	H2	29	新	-	-		長寿命	C	C	B	B	B	62	
22	0634	しらかし台小学校	体育館棟	002	小学校	体育館	S	2	1,056	1990	H2	29	新	-	-		長寿命	C	B	B	B	B	72	
23	0634	しらかし台小学校	ミーティングルーム	003	小学校	その他	S	2	336	1990	H2	29	新	-	-		長寿命	C	B	B	B	B	72	
24	0634	しらかし台小学校	プール専用付属室	004	小学校	その他	RC	1	96	1990	H2	29	新	-	-		長寿命	B	B	B	B	B	75	
25	0634	しらかし台小学校	油庫	006	小学校	その他	S	1	6	1992	H4	27	新	-	-		長寿命	B	B	B	B	B	75	
26	0634	しらかし台小学校	倉庫	007	小学校	その他	S	1	11	1992	H4	27	新	-	-		長寿命	B	B	B	B	B	75	
27	0641	青山小学校	校舎(南棟)	001	小学校	校舎	RC	3	3,032	1994	H6	25	新	-	-		長寿命	B	B	B	B	B	75	
28	0641	青山小学校	校舎(北棟)	002	小学校	校舎	RC	3	2,935	1994	H6	25	新	-	-		長寿命	B	B	B	B	B	75	
29	0641	青山小学校	体育館	003-1,003-2	小学校	体育館	S	2	1,114	1994	H6	25	新	-	-		長寿命	B	B	B	B	B	75	
30	0641	青山小学校	ミーティング室	004	小学校	その他	S	2	324	1994	H6	25	新	-	-		長寿命	B	B	B	B	B	75	
31	0641	青山小学校	倉庫	005	小学校	その他	RC	1	25	1994	H6	25	新	-	-		長寿命	B	B	B	B	B	75	
32	0641	青山小学校	プール専用付属室	006	小学校	その他	RC	1	115	1995	H7	24	新	-	-		長寿命	B	B	B	B	B	75	
33	0646	菅谷台小学校	校舎1	001-1	小学校	校舎	RC	3	3,622	1996	H8	23	新	-	-		長寿命	B	B	B	B	B	75	
34	0646	菅谷台小学校	校舎2	001-2	小学校	校舎	RC	3	361	1998	H10	21	新	-	-		長寿命	B	B	B	B	B	75	
35	0646	菅谷台小学校	屋内運動場	002	小学校	体育館	S	1	1,251	1998	H10	21	新	-	-		長寿命	B	B	B	B	B	75	
36	0646	菅谷台小学校	ミーティングルーム	003	小学校	その他	S	1	260	1998	H10	21	新	-	-		長寿命	B	B	B	B	B	75	
37	0646	菅谷台小学校	プール専用付属室	004	小学校	その他	RC	1	136	1998	H10	21	新	-	-		長寿命	B	B	B	B	B	75	
38	3635	利府中学校	校舎1	013	中学校	校舎	RC	4	4,610	1985	S60	34	新	-	-		長寿命	B	C	C	B	B	52	
39	3635	利府中学校	校舎2	014	中学校	校舎	S	2	359	1985	S60	34	新	-	-		長寿命	B	B	B	B	B	75	
40	3635	利府中学校	屋内運動場	015	中学校	体育館	S	2	1,443	1988	S63	31	新	-	-		長寿命	B	B	B	B	B	75	
41	3635	利府中学校	クラブハウス	016	中学校	その他	RC	1	151	1988	S63	31	新	-	-		長寿命	B	B	B	B	B	75	
42	3635	利府中学校	校舎3	018	中学校	校舎	RC	2	610	1992	H4	27	新	-	-		長寿命	B	B	B	B	B	75	
43	3635	利府中学校	プール専用付属室	019	中学校	その他	RC	1	112	1997	H9	22	新	-	-		長寿命	B	B	B	B	B	75	
44	3804	利府中学校	弓道場	020	中学校	その他	W	1	23	1997	H9	22	新	-	-		長寿命	B	B	B	B	B	75	
45	3804	しらかし台中学校	校舎棟1	001-1	中学校	校舎	RC	3	3,832	1991	H3	28	新	-	-		長寿命	D	C	B	B	B	59	
46	3804	しらかし台中学校	校舎棟2	001-2	中学校	校舎	RC	3	510	1994	H6	25	新	-	-		長寿命	B	B	B	B	B	75	
47	3804	しらかし台中学校	体育館	002	中学校	体育館	S	2	1,281	1991	H3	28	新	-	-		長寿命	B	B	B	B	B	75	
48	3804	しらかし台中学校	地域・学校連携施設	003	中学校	その他	S	1	214	1991	H3	28	新	-	-		長寿命	B	B	B	B	B	75	
49	3804	しらかし台中学校	プール専用付属室	004	中学校	その他	RC	1	83	1991	H3	28	新	-	-		長寿命	B	B	B	B	B	75	
50	3804	しらかし台中学校	校舎棟3	005	中学校	校舎	RC	3	689	1994	H6	25	新	-	-		長寿命	B	B	B	B	B	75	
51	3804	しらかし台中学校	校舎棟4	006-1	中学校	校舎	RC	3	570	1996	H8	23	新	-	-		長寿命	C	B	B	B	B	72	
52	3804	しらかし台中学校	校舎棟5	006-2	中学校	校舎	RC	3	429	1996	H8	23	新	-	-		長寿命	B	B	B	B	B	75	
53	3804	しらかし台中学校	渡り廊下	006-3	中学校	体育館	RC	2	29	1996	H8	23	新	-	-		長寿命	B	B	B	B	B	75	
54	3804	しらかし台中学校	弓道場	007	中学校	その他	W	1	23	1996	H8	23	新	-	-		長寿命	B	B	B	B	B	75	
55	3816	利府西中学校	校舎	001	中学校	校舎	RC	3	5,677	2000	H12	19	新	-	-		長寿命	B	B	B	A	A	81	
56	3816	利府西中学校	体育館	002	中学校	体育館	RC	1	1,242	2000	H12	19	新	-	-		長寿命	B	B	A	A	A	91	
57	3816	利府西中学校	地域・学校連携施設	003	中学校	その他	RC	2	241	2000	H12	19	新	-	-		長寿命	B	B	A	A	A	91	
58	3816	利府西中学校	プール専用付属室	004	中学校	その他	RC	1	118	2000	H12	19	新	-	-		長寿命	B	B	A	A	A	91	
59	3816	利府西中学校	倉庫	005	中学校	その他	S	1	6	2000	H12	19	新	-	-		長寿命	B	A	A	A	A	98	
60	K085	キャロット館	共同利用施設1	001-1	給食センター	給食センター	S	2	729	1990	H2	29	新	-	-		長寿命	B	B	B	B	B	75	
61	K085	キャロット館	共同利用施設2	001-2	給食センター	給食センター	S	1	46	1998	H10	21	新	-	-		長寿命	B	B	B	B	B	75	
62	K085	キャロット館	共同利用施設3	001-3	給食センター	給食センター	S	1	15	1998	H10	21	新	-	-		長寿命	B	B	B	B	B	75	
63	K086	ボテト館	共同利用施設	001	給食センター	給食センター	RC	2	564	1999	H11	20	新	-	-		長寿命	B	B	B	B	B	75	

■: 築 50 年以上 ■: 築 30 年以上

(4) 今後の維持・更新コスト（長寿命化型）

従来の改築（建替え）中心の手法から、学校施設の目標使用年数を 80 年とした長寿命化型の計画的な修繕・改修を行った場合、今後 40 年間における維持・更新コストは総額約 258 億円となり、従来型の管理を行った場合のコスト（約 291 億円）と比較して約 33 億円の縮減となる。

1 年あたりの平均額としては、従来型管理のコストが約 7.3 億円／年、長寿命化型管理のコストが約 6.4 億円／年と予測され、約 0.9 億円／年の縮減が期待できる。

※改築単価：35 万円（利府小建替えより算出）

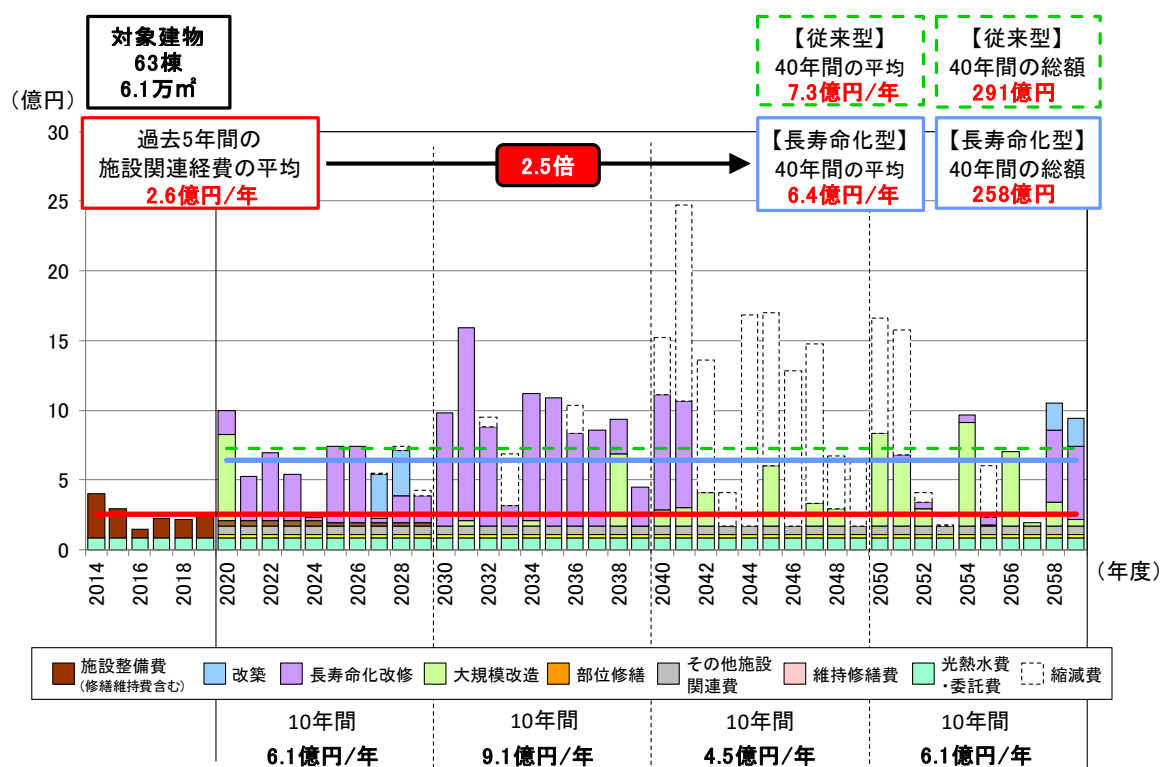


図. 今後の維持・更新コスト（長寿命化型）

第5章

学校施設整備の基本的な方針等

1. 学校施設の規模・配置計画等の方針

(1) 学校施設の長寿命化計画の基本方針

上位計画である公共施設等総合管理計画を踏まえ、学校施設の整備及び維持管理に関する基本方針を以下に示す。

公共施設等総合管理計画（平成 29 年 3 月）	
第5 公共施設等の総合的・計画的な管理に関する基本方針	
2 公共施設等の管理に関する基本方針	『公共施設（建物）』は、質・コスト・量の最適化を目指します。 原則1【予防保全による長寿命化～質の改善～】 ◆老朽化の状況、利用実態及び需要の見通しを踏まえ、今後も継続していく必要がある施設については計画的な予防保全による長寿命化を図り、施設の「品質の保持や機能の改善」に努めます。 原則2【効率的な運営・適切なサービスの提供～コストの改善～】 ◆社会情勢や地域ニーズの変化に対応しながら、PPP/PFI など民間事業者を活用した事業手法、運営方法の改善による「施設運営コストの最適化」を推進します。 原則3【施設供給量の抑制～量の改善～】 ◆次世代に過度な負担を残さないよう施設の適切な更新を進めていくために、将来の人口動向や財政状況を踏まえ、公共施設の統合、廃止及び解体による保有量の適正化と供給量の抑制を図り、「施設保有量」の改善を推進します。
第5 公共施設等の総合的・計画的な管理に関する基本方針	
5 施設類型別個別計画の方向性	
(4) 学校教育系施設	◆文部科学省の「学校施設の長寿命化計画策定に係る手引き」（平成 27 年 4 月）を踏まえ、学校施設長寿命化に取り組みます。 ◆災害時の拠点施設としての機能確保の観点も含め、周辺環境への影響を考慮した安全確保を踏まえながら計画的な改善・更新等により、機能の維持継続を検討します。 ◆既に耐震化済みの施設や耐震性を保有すると判断された施設についても、機能の維持向上に留意しながら定期的な点検を実施します。 ◆児童・生徒数の減少に伴い生じる余裕教室については、地域住民の意見を踏まえ、広い視点での有効活用を検討します。 ◆学校適正配置計画に基づき、改修・建替えも含めた今後の施設のあり方を検討します。



学校施設等長寿命化計画

【基本方針１】計画的な保全による長寿命化

- 定期的な点検の実施と点検記録の蓄積とともに、学校施設の長寿命化にむけた予防保全型の修繕や改築等を検討・推進することで、ライフサイクルコストの縮減や財政負担の平準化を図る。
- 学校施設の改築等を行う際は、財政状況を踏まえながら、バリアフリー化や環境に配慮した設備の導入について検討する。

【基本方針２】民間活力の導入検討

- 学校施設の更新の際は、財政負担を軽減するため、PPP／PFI 等の民間活力の導入を検討し、民間のノウハウを活かして、より質の高い教育環境の提供を検討する。

【基本方針３】施設配置の最適化とさらなる地域活性化

- 学校施設の老朽化の進行や、将来の児童・生徒数の減少に応じて、学校施設の廃止や複合化、集約化、用途変更等を検討し、施設配置の最適化を図る。
- 学校施設は地域コミュニティの拠点であることを踏まえ、体育館や余剰教室等の一般利用を検討し、さらなる地域活性化を図る。

(2) 学校施設の規模・配置計画等の方針

本町の学校施設の規模を「公立小・中学校の国庫負担事業認定申請の手引き（平成 27 年）」における分類で分けると、2022（令和 4）年度では、しらかし台小学校、菅谷台小学校、しらかし台中学校、利府西中学校が小規模校となっており、その他は適正規模校となっている。

表.学級数の推移

学校名	実績値	推計値					
	2019年度 (R1年度)	2020年度 (R2年度)	2021年度 (R3年度)	2022年度 (R4年度)	2023年度 (R5年度)	2024年度 (R6年度)	2025年度 (R7年度)
利府小学校	18	18	17	16	15	15	15
利府第二小学校	12	12	13	13	12	12	12
利府第三小学校	12	12	12	12	12	12	12
しらかし台小学校	12	11	10	10	9	7	6
青山小学校	12	12	12	12	10	9	8
菅谷台小学校	12	11	10	9	8	7	6
小学校計	78	76	74	72	66	62	59
利府中学校	14	16	15	15	14	13	12
しらかし台中学校	9	10	9	10	10	9	9
利府西中学校	12	11	12	11	11	10	10
中学校計	35	37	36	36	35	32	31

※学級数には特別支援学級を含まない

出典：教育委員会資料（各年）

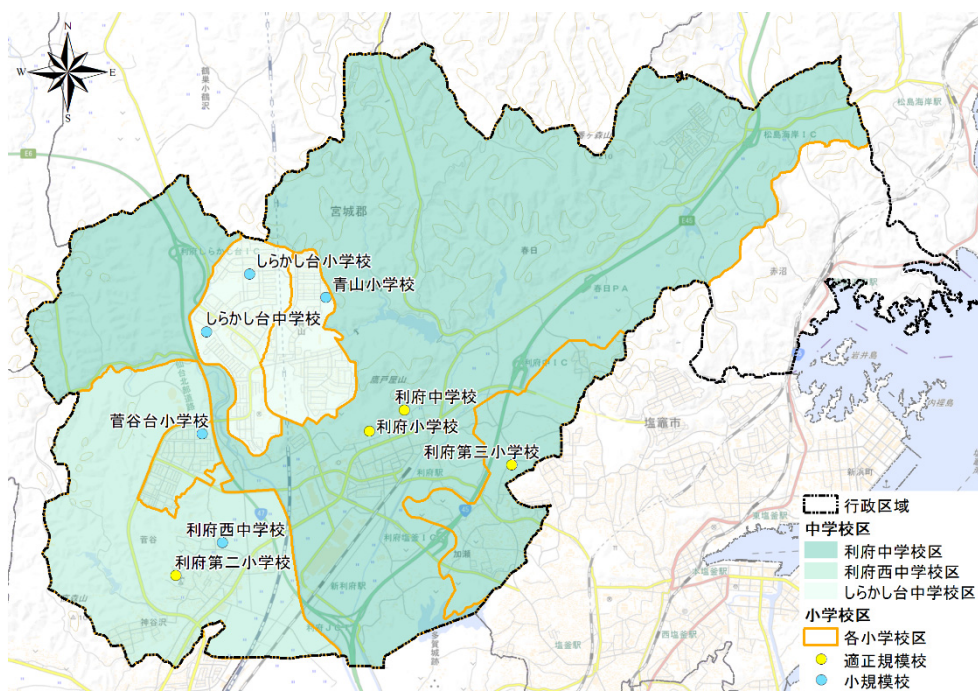
表.学級数による学校施設規模の分類

学校区分	過小規模校	小規模校	適正規模校	大規模校	過大規模校
小学校	1～5 学級	6～11 学級	12～18 学級	19～30 学級	31 学級以上
中学校	1～2 学級	3～11 学級			

出典：公立小・中学校の国庫負担事業認定申請の手引き（平成 27 年）

現状では学校施設の統合等は予定していないが、今後、児童・生徒数及び学級数の減少により小規模化が進んだ場合は、地域における拠点としての役割等にも配慮しつつ、適正な規模となるよう、学区の再編の検討を行う。

また、ポテト館（給食センター）は、キャロット館の改修等の時期に合わせて廃止検討を行う。



※2025（令和 7）年度における学校施設規模

出典：国土数値情報「学校」（平成 25 年）、「小学校区」（平成 28 年）、「中学校区」（平成 28 年）

図表. 学校施設位置図

2. 改修等の基本的な方針

(1) 長寿命化の方針

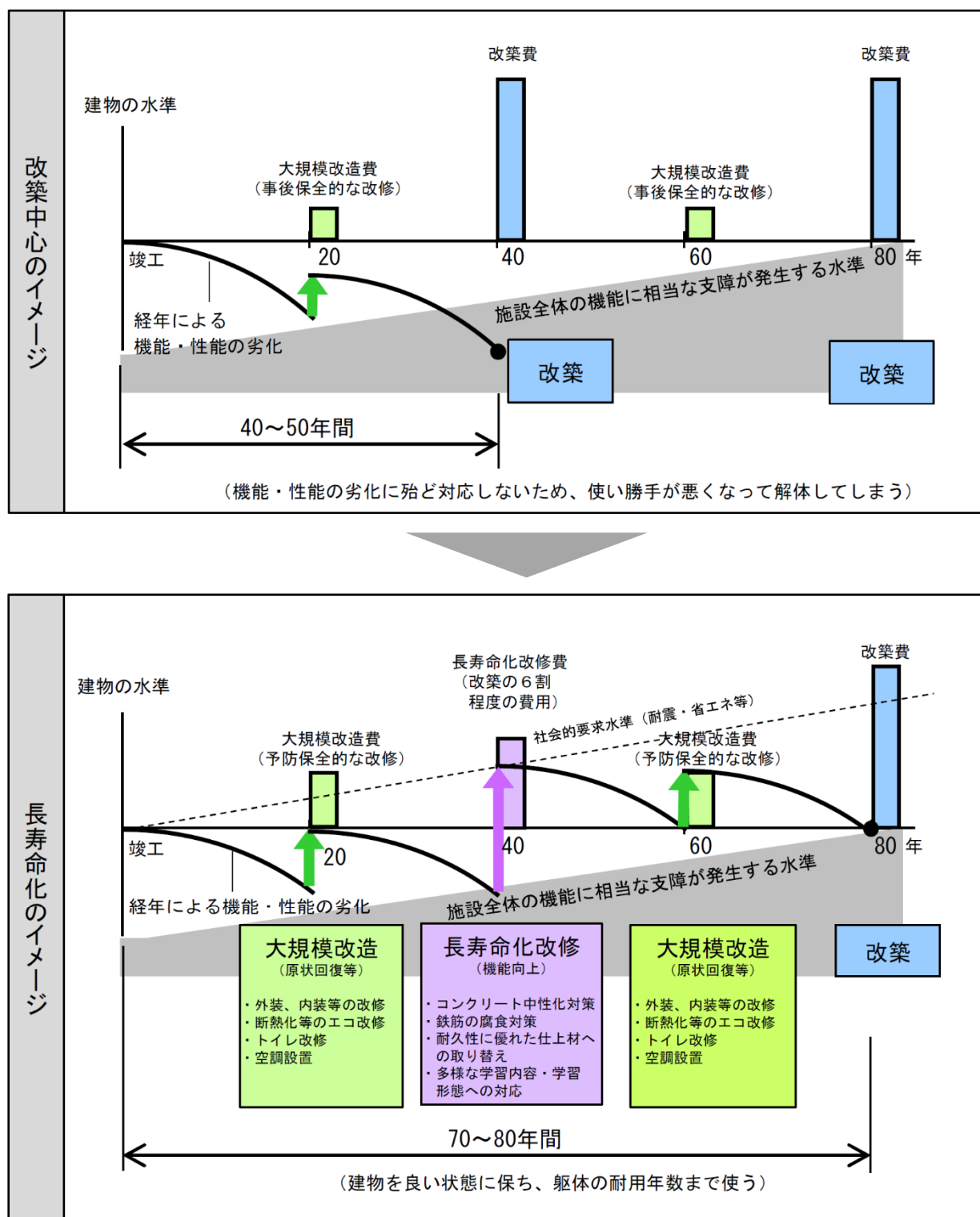
本町の学校施設は、全体の約 25%が築 30 年以上経過し、全体の約 78%が築 20 年以上経過している。従来の改築中心の老朽化対策では、改築等のタイミングが同じ時期に集中することで財政への負担が増大し、対応しきれない施設が大幅に増加すると見込まれる。このような事態に対応するため、改修等の基本的な方針として予防保全による長寿命化の手法を取り入れ、施設整備コストの縮減や平準化を図ることとする。

なお、予防保全の考え方については、「学校施設の長寿命化計画策定に係る手引」（平成 27 年 4 月、文部科学省）に次のように示されている。

【予防保全の方針】

施設をできる限り長く使うため、適切な維持管理を行っていくことが重要であり、そのためには、老朽化による劣化・破損等の大規模な不具合が生じた後に修繕等を行う「事後保全」だけでなく、損傷が軽微である早期段階から予防的な修繕等を実施することで機能・性能の保持・回復を図る「予防保全」を導入することも有効である。「予防保全」を行うことにより、突発的な事故や費用発生を減少させることができ、施設の不具合による被害のリスクを緩和することや、改修、日常的な維持管理の費用を平準化し、中長期的なトータルコストを下げる事が可能となる。一方で、毎年の維持管理費として一定程度の費用を見込む必要があることに留意する必要がある。

従来の改築中心の老朽化対策から、長寿命化への転換イメージを次に示す。



出典：学校施設の長寿命化計画策定に係る手引（平成 27 年 4 月文部科学省）
図．改築中心から長寿命化への転換のイメージ

（２）目標使用年数・改修周期の設定

①目標使用年数

学校施設の物理的な耐用年数は、「学校施設の長寿命化計画策定に係る手引」（平成 27 年 4 月、文部科学省）では、“適切な維持管理がなされ、コンクリート及び鉄筋の強度が確保される場合には 70～80 年程度の長寿命化が可能”と示されている。

これを踏まえ、長寿命化の対象となる学校施設の目標使用年数は 80 年と設定し、定期的な点検等により不具合を早期に見つけ、適切な対策を実施していくこととする。

②改修周期の設定

長寿命化の対象となる学校施設は、80 年の目標使用年数のもと、建築後 20 年と 60 年に大規模改造、建築後 40 年に長寿命化改修を実施していくことを基本とする。

20 年程度の周期で計画的に改修を行うことにより、施設の老朽化対策を実施するとともに、社会的に必要な水準の変化にも対応しながら長寿命化を図っていく。

表．長寿命化の維持管理

建築後の年数	改 修	目 的	内 容
20 年	大規模改造	原状回復等	・ 外装、内装等の改修 ・ 断熱化等のエコ改修 ・ トイレ改修 ・ 空調設置
40 年	長寿命化改修	機能向上	・ コンクリート中性化対策 ・ 鉄筋の腐食対策 ・ 耐久性に優れた仕上材への取り替え ・ 多様な学習内容・学習形態への対応
60 年	大規模改造	原状回復等	・ 外装、内装等の改修 ・ 断熱化等のエコ改修 ・ トイレ改修 ・ 空調設置

参考：学校施設の長寿命化計画策定に係る手引（平成 27 年 4 月文部科学省）

第6章

基本的な方針等を踏まえた施設整備の水準等

1. 改修等の整備水準

改修においては、物理的な不具合を修繕し、老朽化した施設を建築当時の状態へ戻すのみではなく、施設の機能や性能を必要な整備水準まで引き上げて長寿命化改修することが重要となる。

社会情勢や時代のニーズの変化等に対応するため、適宜整備水準の見直しを行う。

（1）学校施設の状況を踏まえた安全性の確保

【屋根・屋上】

屋上防水は、原則、撤去・更新とし、耐久性に優れた材料・工法を選定する。ただし、部分的な劣化の場合は、既存の防水層の不良部のみを撤去し、適切な下地処理を施した上で新しい防水層を施工する。また、断熱性能の向上や太陽光パネルの設置による省エネ化などにより、環境負荷の少ない改修方法についても検討する。



＜事例＞アスファルト防水
(山口県 公共宿泊施設)



＜事例＞シート防水
(福岡県 民間共同住宅)

出典：学校施設の長寿命化改修に関する事例集（平成 29 年 文部科学省）

【外壁・内部仕上げ】

外壁等の改修の際は、剥落する恐れのないものを選定することとし、防火性、防汚性、耐久性、耐水性等に優れたものとする。また、屋内の熱の損失や外気の影響を受けにくい断熱材や開口部のペアガラスなどについて検討する。

内部仕上げについては、児童・生徒が怪我をしないよう面取りやカバーを設置するなどの安全対策を検討する。また、バリアフリーに配慮し、車いす使用者の通過を妨げるような段差の解消やスロープの設置に配慮する。トイレの改修にあたっては、ドライ方式への改善に向けて取り組む。



地域の風景に馴染む外観
(福島県北塩原村 さくら小学校)



明るく清潔なトイレ
(神奈川県横須賀市 大塚台小学校)

資料：新たな学校施設づくりのアイデア集（平成 22 年 文部科学省）

【電気・機械設備】

給排水、受変電、消防設備、暖房器具など各種機械設備等の安全かつ効率的な維持管理を行うため、耐用年数を考慮した設備・機器の更新や点検等を行う。電気設備については、LED 照明の設置など環境負荷の少ない設備の導入を図る。



＜事例＞LED 照明（天井用）

資料：教育、学習支援業 LED照明への更新により省エネルギーを実現
（東北経済産業局 資源エネルギー環境部 エネルギー対策課 HP）

（２）教育に必要な教育環境の変化に対応した機能性の確保

多様化する教育内容の変化に対応するため、学校施設に必要な耐久性、安全性、機能性、衛生的な環境等の品質を確保するほか、学校施設の木材利用や木質化、自然採光の活用、省エネ設備などを取り入れたエコスクール化に向けた検討、高速・大容量の通信ネットワークによる教育 ICT 環境の実現などに向けた検討についても積極的に取り組む。



たたみのある図書室
（福井県越前市 白山小学校）



外国語メディアスペース
（青森県南部町 名川中学校）

資料：新たな学校施設づくりのアイデア集 （平成 22 年 文部科学省）

2. 維持管理の項目、手法等

学校施設を長期間使用するために、各施設における老朽化や劣化の状況を適切に把握して、予防保全の考えに基づいた維持管理を実施し、計画的な修繕等を進めることが重要となっている。

本町では、建築基準法第 12 条第 2 項に準じた定期点検に調査項目を追加し、専門的な調査員による老朽化点検を 5 年ごとに実施する。

併せて、教職員による日常的な点検を引き続き実施し、施設・設備の劣化や異常の有無について情報を収集することで、早期の修繕対応を推進する。

表. 劣化状況調査票

通し番号	1		
学校名	利府小学校	学校番号	0282
建物名	校舎	調査日	
棟番号	021	記入者	
構造種別	RC	延床面積	4,956 m ²
		建築年度	平成30 年度(2018 年度)
		階数	地上 3 階 地下 階

部位	仕様 (該当する項目にチェック)	工事履歴(部位の更新)		劣化状況 (複数回答可)	箇所数	特記事項	評価
		年度	工事内容				
1 屋根 屋上	☐ アスファルト保護防水 ☐ アスファルト露出防水 ☐ シート防水、塗膜防水 ☐ 勾配屋根(長尺金属板、折板) ☐ 勾配屋根(スレート、瓦類) ☐ その他の屋根 ()			☐ 降雨時に雨漏りがある ☐ 天井等に雨漏り痕がある ☐ 防水層に膨れ・破れ等がある ☐ 屋根葺材に錆・損傷がある ☐ 笠木・立上り等に損傷がある ☐ 樋やルーフトンを目視点検できない ☐ 既存点検等で指摘がある			
2 外壁	☐ 塗仕上げ ☐ タイル張り、石張り ☐ 金属系パネル ☐ コンクリート系パネル(ALC等) ☐ その他の外壁 () ☐ アルミ製サッシ ☐ 鋼製サッシ ☐ 断熱サッシ、省エネガラス			☐ 鉄筋が見えているところがある ☐ 外壁から漏水がある ☐ 塗装の剥がれ ☐ タイルや石が剥がれている ☐ 大きな亀裂がある ☐ 窓・ドアの廻りで漏水がある ☐ 窓・ドアに錆・腐食・変形がある ☐ 外部手すり等の錆・腐朽 ☐ 既存点検等で指摘がある			

部位	修繕・点検項目	改修・点検年度	特記事項(改修内容及び点検等による指摘事項)	評価
3 内部仕上 (床・壁・天井)	☐ 老朽改修			
(内部建具)	☐ エコ改修			
(間仕切等)	☐ トイレ改修			
(照明器具)	☐ 法令適合			
(エアコン)等	☐ 校内LAN			
	☐ 空調設置			
	☐ 障害児等対策			
	☐ 防犯対策			
	☐ 構造体の耐震対策			
	☐ 非構造部材の耐震対策			
	☐ その他、内部改修工事			
4 電気設備	☐ 分電盤改修			
	☐ 配線等の敷設工事			
	☐ 昇降設備保守点検			
	☐ その他、電気設備改修工事			
5 機械設備	☐ 給水配管改修			
	☐ 排水配管改修			
	☐ 消防設備の点検			
	☐ その他、機械設備改修工事			

特記事項(改修工事内容や12条点検、消防点検など、各種点検等による指摘事項が有れば、該当部位と指摘内容を記載)

健全度

 0 / 100点

1. 長寿命化のコストの見通し、長寿命化の効果

(1) 維持・更新コストの算出パターン

学校施設の長寿命化を行った場合の維持・更新コストの見通しについて、比較・評価を行い、長寿命化の効果をとりとめる。

本計画では、改築中心の整備を進める【従来型】、建物の目標使用年数を80年まで延長させるため、計画的な修繕・改修により長寿命化を図る【長寿命化型】、長寿命化型をベースに平準化・給食センターを統合する案（以下、【長寿命化型（平準化）案】という。）の3パターンについて、それぞれ今後40年間の維持・更新コストを算出し、縮減効果の比較を行う。

表. コスト算出パターン一覧

改築中心の整備方法		
	従来型	築50年で改築を行う従来の維持・更新方法を、今後も継続する。
長寿命化を図る整備方法		
	長寿命化型	建物を築80年まで使用できるよう、計画的な修繕・改修等を行い、長寿命化を図る。
	長寿命化型 （平準化）案	上記の長寿命化型のコストをベースに、集中した修繕・改修等の時期をずらして、コストの平準化を図る。

(2) 維持・更新コストの試算における条件設定

今後の維持・更新コストの試算に用いる施設区分ごとの単価は次の通り。各工種の単価には、延床面積に国から配布て

た試算エクセルにて初期設定となっている標準割合を乗じて算出する。

大規模改造の周期は 20 年となっているが、築 40 年頃の大規模改造は長寿命化改修に含まれるため、築 20 年頃と築 60 年頃に大規模改造を設定する。ただし、平準化によって築 60 年頃の大規模改造が築 70 年代にずれた場合は、改築の時期を見据えたレベルの改造（中規模改造）を行うこととする。

表. 今後の維持・改築コスト（長寿命化型）の試算条件

工 種	周 期	単 価(円/㎡)			
		校 舎	屋内運動場	学校給食センター	その他
改 築	80 年	350,000	350,000	350,000	350,000
長寿命化改修	40 年	210,000 (改築単価×60%)	210,000 (改築単価×60%)	210,000 (改築単価×60%)	210,000 (改築単価×60%)
大規模改造	20 年	87,500 (改築単価×25%)	77,000 (改築単価×22%)	87,500 (改築単価×25%)	87,500 (改築単価×25%)
中規模改造	築 70 年代に 大規模改造の 時期となる場合	43,750 (改築単価× 12.5%)	38,500 (改築単価×11%)	43,750 (改築単価× 12.5%)	43,750 (改築単価× 12.5%)

(3) 優先順位の設定

改修・改築の優先順位は次のように考える。

優先順位が最も高いものは、劣化状況調査において D 判定となったもの、もしくは災害等により被害を受け、早急な対応が必要なものとする。次に、劣化状況調査において C 判定となったものとする。それ以外は、築年数、劣化状況調査結果、過去の改修履歴を踏まえて、改修・改築が必要な時期を迎えたものから順次対応していく。

表. 改修・改築の優先順位の考え方

優先順位	内 容	具体的な項目
1	今後 5 年以内に 対応が必要なもの	・劣化状況調査の結果、D 判定となったもの ・災害等により被害を受け、早急な対応が必要なもの
2	今後 10 年以内に 対応が必要なもの	・劣化状況調査の結果、C 判定となったもの
3	改修・改築が 必要なもの	・築年数(古い順) ・劣化状況評価(状況が悪い順) (屋根・屋上、外壁、内部仕上、電気設備、機械設備) ・過去の改修履歴

(4) パターン別維持・更新コスト

【従来型】

- ・ 築 50 年で改築を行う従来の修繕・改修方法を、今後も継続する。
- ・ 施設の統廃合を行わず、既存の施設を維持する。

表. 今後の維持・更新コスト【従来型】

		10年間の維持・更新コスト (2020～2029年)		40年間の維持・更新コスト (2020～2059年)	
		年あたり	合計	年あたり	合計
施設整備費	改築	1.0 億円	10 億円	4.8 億円	193 億円
	大規模改造	0.6 億円	6 億円	0.6 億円	25 億円
	部位修繕	0.6 億円	6 億円	0.1 億円	6 億円
小計		2.2 億円	22 億円	5.6 億円	223 億円
その他施設関連費		0.6 億円	6 億円	0.6 億円	24 億円
維持修繕費		0.2 億円	2 億円	0.2 億円	9 億円
光熱水費・委託費		0.8 億円	8 億円	0.8 億円	34 億円
維持・更新コスト 合計		3.9 億円	39 億円	7.3 億円	291 億円

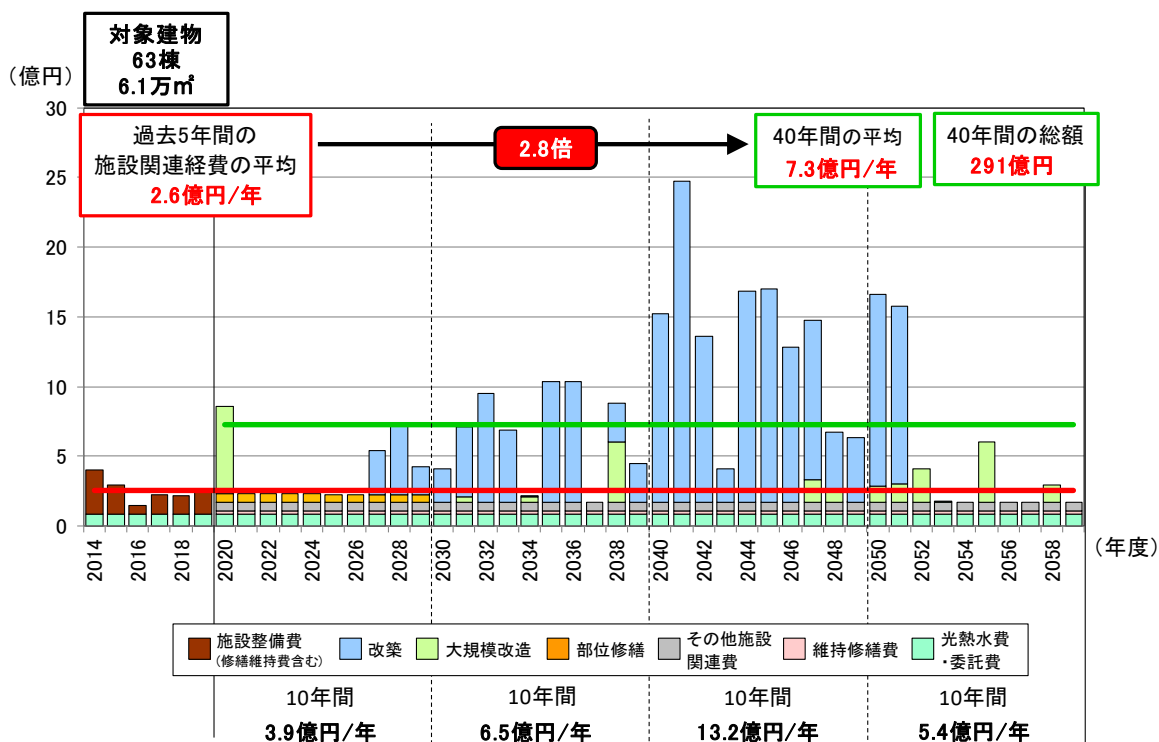


図. 今後の維持・更新コスト【従来型】

【長寿命化型】

- ・ 建物を築 80 年まで使用できるように、計画的な修繕・改修等を行い、長寿命化を図る。
- ・ 施設の統廃合を行わず、既存の施設を維持する。

表. 今後の維持・更新コスト【長寿命化型】

		10年間の維持・更新コスト (2020～2029年)		40年間の維持・更新コスト (2020～2059年)	
		年あたり	合計	年あたり	合計
施設整備費	改築	0.6 億円	6 億円	0.3 億円	10 億円
	長寿命化改修	2.8 億円	28 億円	3.1 億円	124 億円
	大規模改造	0.6 億円	6 億円	1.3 億円	52 億円
	部位修繕	0.3 億円	3 億円	0.1 億円	3 億円
小計		4.4 億円	44 億円	4.8 億円	190 億円
その他施設関連費		0.6 億円	6 億円	0.6 億円	24 億円
維持修繕費		0.2 億円	2 億円	0.2 億円	9 億円
光熱水費・委託費		0.8 億円	8 億円	0.8 億円	34 億円
維持・更新コスト 合計		6.1 億円	61 億円	6.4 億円	258 億円

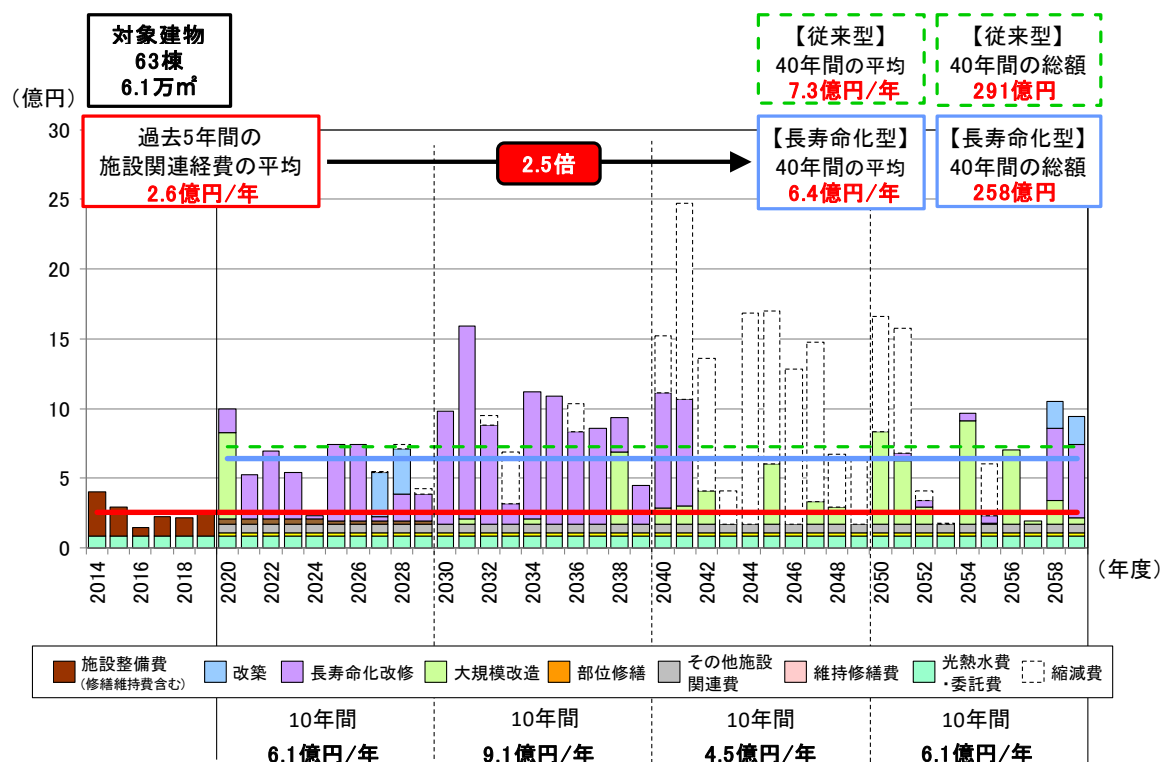


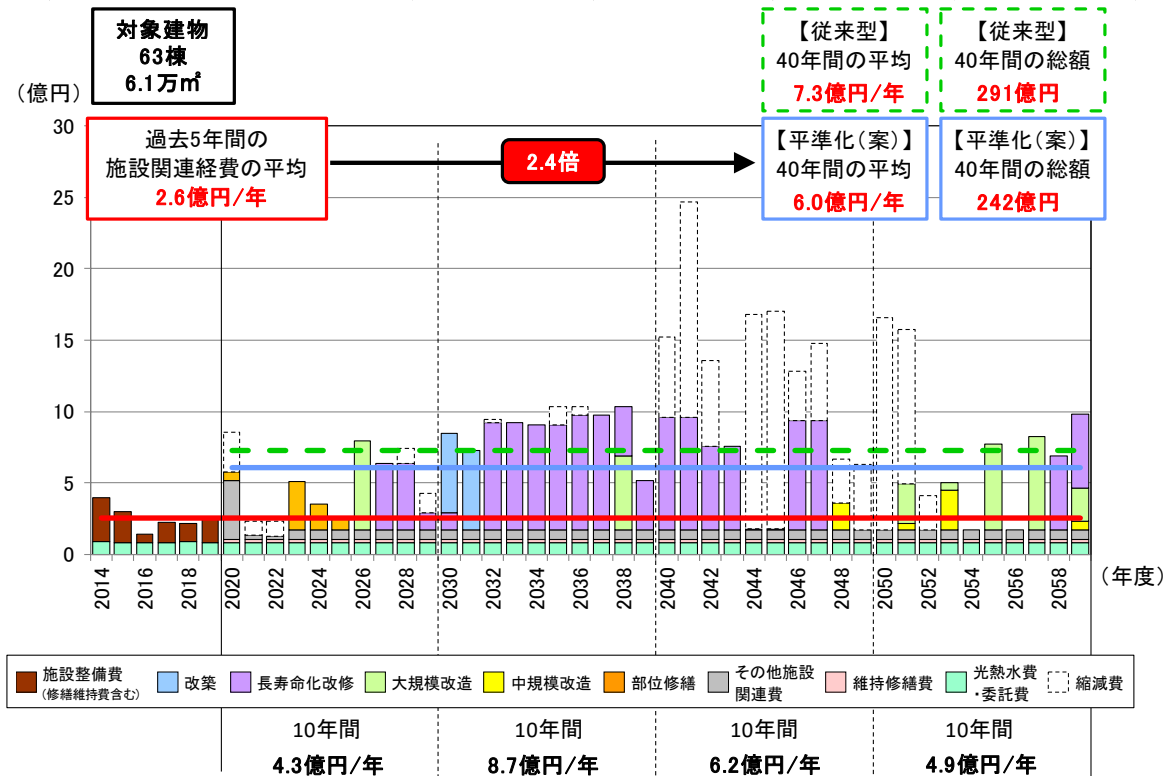
図. 今後の維持・更新コスト【長寿命化型】

【長寿命化型（平準化）案】

- ・建物を築80年まで使用できるよう、計画的な修繕・改修等を行い、長寿命化を図る。
- ・直近3年（2020～2022年）は予算をもとにした修繕・改修を設定する。なお、改築となった利府第二小学校の管理教室棟は、2020年に部位修繕を予定しているため、改築時期を2030年以降に設定する。
- ・2023～2025年は、劣化状況調査にてC・D判定となった部位修繕を実施。
- ・キャロット館の長寿命化改修の時期に合わせて増築を行い、ポテト館を統合・廃止する。

表. 今後の維持・更新コスト【長寿命化型（平準化）案】

		10年間の維持・更新コスト (2020～2029年)		40年間の維持・更新コスト (2020～2059年)	
		年あたり	合計	年あたり	合計
施設整備費	改築	0.0 億円	0 億円	0.3 億円	11 億円
	長寿命化改修	1.1 億円	11 億円	3.0 億円	118 億円
	大規模改造	0.6 億円	6 億円	0.7 億円	30 億円
	中規模改造	0.0 億円	0 億円	0.1 億円	6 億円
	部位修繕	0.7 億円	7 億円	0.2 億円	7 億円
小計		2.4 億円	24 億円	4.3 億円	172 億円
その他施設関連費		0.9 億円	9 億円	0.7 億円	27 億円
維持修繕費		0.2 億円	2 億円	0.2 億円	9 億円
光熱水費・委託費		0.8 億円	8 億円	0.8 億円	34 億円
維持・更新コスト 合計		4.3 億円	43 億円	6.0 億円	242 億円



(5) 長寿命化の効果

算出した将来の維持・更新コストを次に示す。

10年間の維持・更新コストをみると、【長寿命化型】は61億円（6.1億円／年）で、従来型と比較すると22億円高くなる。【長寿命化型（平準化）案】は43億円（4.3億円／年）で、従来型と比較すると4億円高くなる。

40年間の維持・更新コストをみると、【長寿命化型】は258億円（6.4億円／年）で、従来型と比較すると33億円低くなる。【長寿命化型（平準化）案】は242億円（6.0億円／年）で、従来型と比較すると49億円低くなる。

10年間のコストをみると、長寿命化改修の時期を迎える施設が多いことから長寿命化型の方が従来型よりもコストが高い結果となった。一方で、40年間の中長期的なコストをみると長寿命化型の方が従来型よりもコストが低く、縮減効果が出る結果となった。

以上より、40年間のコストが最も低い【長寿命化型（平準化）案】を採用する。

表. パターン別 維持・更新コストの一覧

	10年間の維持・更新コスト (2020～2029年)			40年間の維持・更新コスト (2020～2059年)		
	年あたり	合計	従来型との差	年あたり	合計	従来型との差
従来型	3.9 億円	39 億円		7.3 億円	291 億円	
長寿命化型	6.1 億円	61 億円	22億円	6.4 億円	258 億円	△ 33 億円
長寿命化型(平準化)案	4.3 億円	43 億円	4億円	6.0 億円	242 億円	△ 49 億円

2. 実施計画

(1) 第1期（今後10年間）における実施計画

第1期における実施計画は次の通り。

表. 第1期における実施計画

年度		2020		2021		2022		2023		2024		2025		2026		2027		2028		2029	
		R2		R3		R4		R5		R6		R7		R8		R9		R10		R11	
事業名称		学校名	事業費	学校名	事業費	学校名	事業費	学校名	事業費	学校名	事業費	学校名	事業費	学校名	事業費	学校名	事業費	学校名	事業費	学校名	事業費
施設整備費	改築																				
	長寿命化改修														利府第三小 (普通教室棟)	158.8	利府第三小 (普通教室棟)	158.8	利府第二小 (屋内運動場)	116.9	
															利府第三小 (特別教室棟)	175.8	利府第三小 (特別教室棟)	175.8	利府第二小 (プール専用付施設)	4.5	
															利府第三小 (屋内運動場)	122.4	利府第三小 (屋内運動場)	122.4	利府第二小 (倉庫)	3.9	
															利府第三小 (プール専用付施設1)	7.8	利府第三小 (プール専用付施設1)	7.8			
															利府第三小 (プール専用付施設2)	2.5	利府第三小 (プール専用付施設2)	2.5			
	大規模改造													利府西中 (校舎)	498.7						
														利府西中 (体育館)	95.6						
														利府西中 (地域・学校連携施設)	21.1						
														利府西中 (プール専用付施設)	10.3						
														利府西中 (倉庫)	0.5						
	中規模改造																				
	部位修繕	利府小 (特別教室棟) ・トイレ ・屋上防水	21.3				利府第二小 (管理教室棟) ・外壁 ・内部仕上 ・電気設備 ・機械設備	118.9	しらかし合小 (校舎棟) ・屋根・屋上 ・外壁	166.1	利府小 (屋内運動場) ・屋根・屋上	13.4									
		利府小 (屋内運動場) ・トイレ	15.3				利府第二小 (特別教室棟) ・外壁 ・内部仕上げ	50.0	しらかし合小 (体育館棟) ・屋根・屋上	11.1	利府小 (倉庫) ・屋根・屋上	0.1									
		利府第二小 (管理教室棟) ・軒天	1.3				利府中 (校舎1) ・外壁 ・内部仕上げ	172.6	しらかし合小 (モータイングループ) ・屋根・屋上	4.1	しらかし合 (校舎棟1) ・外壁	68.4									
		利府第二小 (屋内運動場) ・軒天	1.3																		
		利府第二小 (特別教室棟) ・軒天	1.3																		
		しらかし合中 (校舎棟1) ・軒天 ・屋上防水	3.7																		
		しらかし合中 (校舎棟2) ・軒天 ・屋上防水	3.7																		
		しらかし合中 (体育館) ・軒天	0.7																		
	しらかし合中 (校舎棟3) ・軒天 ・屋上防水	3.7																			
	しらかし合中 (校舎棟4) ・軒天 ・屋上防水	3.7																			
	しらかし合中 (校舎棟5) ・軒天 ・屋上防水	3.7																			
	利府西中 (体育館) ・屋上防水	3.4																			
	キャロット館 (共同利用施設1) ・トイレ	0.6																			
	ボート館 (共同利用施設) ・トイレ	0.6																			
その他施設関連運費		全小中学校	407.0	全小中学校	26.0	全小中学校	17.0	全小中学校	60.7	全小中学校	60.7	全小中学校	60.7	全小中学校	60.7	全小中学校	60.7	全小中学校	60.7	全小中学校	60.7
維持修繕費		全小中学校	22.9	全小中学校	22.9	全小中学校	22.9	全小中学校	22.9	全小中学校	22.9	全小中学校	22.9	全小中学校	22.9	全小中学校	22.9	全小中学校	22.9	全小中学校	22.9
光熱水費・委託費		全小中学校	84.8	全小中学校	84.8	全小中学校	84.8	全小中学校	84.8	全小中学校	84.8	全小中学校	84.8	全小中学校	84.8	全小中学校	84.8	全小中学校	84.8	全小中学校	84.8
合 計			578.8		133.6		124.6		509.9		349.7		250.3		792.6		635.6		635.6		293.6

第1期～第4期における中長期の実施計画は次の通り。

表. 中長期（第1期～第4期）における実施計画

[illegible]

第8章

長寿命化計画の継続的運用方針

1. 情報基盤の整備と活用

学校施設の基本情報、点検や診断結果、修繕履歴、費用に関する情報等は、今後の維持管理・更新において重要な基礎資料となる。これらの情報を記録し、適切に保存するため、「学校施設維持管理システム」を活用した情報の一元管理を図る。公立学校施設台帳と併せてデータを活用し、総合的な判断を行うことで、効率的な維持管理・更新を推進する。データベースの内容は、庁内関係者や各学校と共有し、情報に基づき本計画の適切な見直しを図ることで、継続的な運用体制を構築する。

また、先進的な取り組み等を参考に、経費削減に活用できる技術等を収集し、情報を共有する体制づくりについて検討する。

2. 推進体制等の整備

「利府町公共施設等総合管理計画」における方向性を踏まえながら、学校施設を所管する教育委員会が中心となって本計画を推進するものとする。計画の推進にあたっては、工事等に関する円滑な調整・協力を可能とするため、関係部署との情報共有・連携を図る。

また、点検マニュアルや研修会等を通じて、日常的な点検・管理の充実を図り、老朽化や不具合のある箇所の早期発見・早期修繕を推進する。

3. フォローアップ

本計画を確実に実行するために、計画策定(Plan)、計画に基づいた改修や維持管理等の実施(Do)、実施した内容の評価(Check)、評価結果に基づいた次期計画への反映(Action)によるPDCAサイクルを構築し、計画の適切な進捗管理を行う。学校施設の老朽化に関する点検等の結果を踏まえながら、計画は5年ごとに見直しを図るものとする。

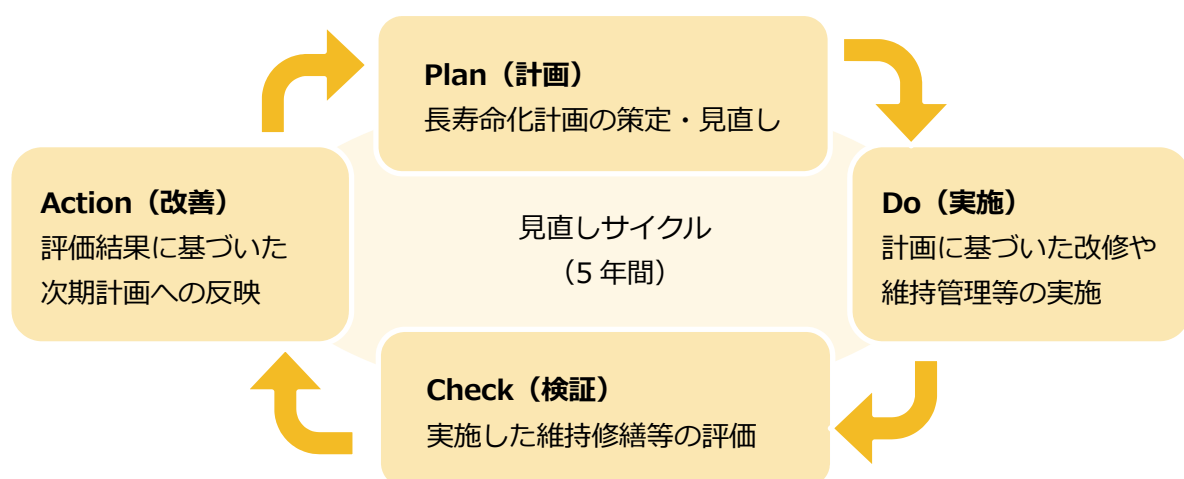


図. PDCA サイクルのイメージ

利府町教育委員会

令和 2 年 3 月

〒981-0112

宮城県宮城郡利府町利府字新並松 4 番地

TEL : 022-767-2179

FAX : 022-767-2108

e-mail : soumu-kyusyoku@rifu-cho.com